金光学園

# やつなみ

2023.7

265号

# 高校入学式

# 中学入学式

# 中学ゆずり葉の会

令和5年3月16日（木）、義務教育修了式と、中学ゆずり葉の会が行われた。修了式では村上遼くんが総代として卒業証書を受け取り、爲房百恵さんが中学生活を振り返り、友人や家族、後輩への感謝の気持ちを述べた。

その後、生徒会役員の引き継ぎ式である「中学ゆずり葉の会」が行われた。1・2年生から、旅立つ先輩に対する温かな出し物が行われた後、3年生による出し物が行われた。『正解』の合唱から始まり、有志によるバンド演奏に加え、ルミカライトやフラッグを使った色鮮やかな舞台が披露された。続いて有志によるダンスが行われ、学年全体で楽しく踊る様子に、会場も大いに盛り上がった。その後は家族・友人・後輩・教員に対する感謝の手紙が紹介され、ラストは学年全体合唱『栄光の架け橋』で締めくくった。その後生徒会長を始めとした事務局員の引き継ぎも行われ、感動的な会であった。

## 「One for all, All for one」

田頭　勉

この4月から、やつなみ保護者会に関わらせて頂き度々学園に足を運ぶようになりました。ふと運動場に目を向けると生徒たちの一生懸命練習する姿に、私自身の学生時代ラグビー部に所属し、汗を流した記憶が蘇ります。さて、ラグビーといえば、その精神を表す言葉として、「One for all, All for one」（ひとりはみんなのために、みんなはひとりのために）がよく知られており、今やすっかりラグビーの言葉として認知されています。「全員で勝つために、一人ひとりが全力で役割を果たす」見返りを求めず、誰かのために無心で頑張ること、ラグビーが他のスポーツと大きく異なるのは、体格一つとっても、実に様々なタイプの選手がいて、背が高い、低い、痩せている、太っている、そんな異なる体格の一人ひとりが共存し、そのポジションの役割を果たすべく頑張る。大きな体の選手たちがスクラムを組んでボールをとる。それを小柄な選手が絶妙なタイミングで後ろにパスを出す。パスを受けた足の速い選手がタックルされたときのために、体の大きな選手が全力で後を追う。こうして一人ひとりがその役割を果たすことで、勝利を手にすることができる。そのためには、仲間を守るために躊躇している暇もないし、そこに見返りを求めている余裕もない。自分のためではなく常に仲間のために無心でプレーをする。その気持ちや姿勢が、メンバーの心を互いに前に動かし、時には勇気を与えていくのではないでしょうか。なんだか学園に似ています。生徒、教職員・そして保護者の皆様が、一人ひとりの役割や異なる可能性、個性を活かし、学習や行事に取り組んで、課題を乗り越えていこうとする姿。9月には「ほつま祭」がやってきます。中・高等部それぞれの各チームがアフターコロナに負けないくらい熱い思いを持ち、大成功に終わる事を願っております。

（金光学園やつなみ保護者会副会長）

## 目　次


巻頭言……1
金光学園 中学・高等学校 入学式……2
道㉟……12
自画像……14
活躍する卒業生……横畑　早苗……16
メタセコイア……18
表紙の言葉……18
活躍おめでとう……19
学園生の故郷……20
中学生になって……23
中1入校時合宿……26
中2（現中3）学年集会……29
高1一日旅行……32
やつなみ保護者会のページ……36
会長就任挨拶……38
友愛セールご協力のお願い……39
会報……40
やつなみ保護者会地区会……41
法人決算の概要……42
Radford College 第5回姉妹校交流プログラム……46
AFS留学生紹介……51
芸術鑑賞会……52
高3人権講演……56
学童サマースクール……58
オープンスクール……62
令和5年度大学入試結果……64
ある日のホームルーム……65
生徒会活動……66
学園だより……72
教室の窓から……編集後記……76

令和5年度

# 金光学園 中学・高等学校 入学式

4月7日、入学式が挙行された。中学は午前9時から102名が、高校は午後1時半から155名が、保護者・教職員の祝福を受けて新たな出発をした。

国歌斉唱、校長式辞の後、中学は金光安衣さんが、高校は藤井千夏さんがそれぞれ「願いのことば」を力強く述べた。続いて学校法人理事長の挨拶（田淵美賀雄 常務理事代読）、金光教を代表して教務総長 岩﨑道與氏の祝辞があり、次に保護者を代表して中学は中塚靖子氏、高校は大目憲正氏の挨拶があった。終わりに、中学では学園歌紹介、高校は学園歌斉唱で式の最後が締めくくられた。

## 式辞

校長 金光 道晴

今年は3月になって暖かい日が続き、桜の花の開花が観測史上最も早かったそうで、既に岡山では3月27日には満開になったと伝えられていましたが、ここ金光町の桜は県内各地よりも開花が少し遅く、4月になってから満開を迎えましたので、一昨日からの雨にもかかわらず、皆さんの入学を待ってくれているかのようにまだ花を残しています。今日は雨の中ではありますが、4年振りに来賓の方々にもご臨席を賜り、麗しく入学式が挙行できますことは誠に嬉しく有り難いことであります。

教務総長様をはじめ、金光教関係のご来賓の皆様には、ご大祭の期間中のお忙しい中を、またやつなみ保護者会の皆様にも、年度初めの公私ともご多用の中を、お繰り合わせ、ご臨席を賜りまして誠にありがとうございます。高い所からではありますが、心から御礼申し上げます。

はじめに保護者の皆様にお慶びを申し上げます。皆様には、お子様のご入学、誠におめでとうございます。地元の中学へ行けばよいところを、私学である本学園の教育を選んで、お子様を入学させていただきましたことは、誠に有り難く嬉しいことであります。

金光学園に入学されたということは、本学園とこれから生涯にわたる深く尊いご縁ができたということでもあります。そして、お子様がご両親にとって、大切なわが子であると同時に、私どもにとっても大切な学園の子となったわけでありますから、私達もうちの子として六年間大事にお預かりし、保護者の皆様と「あいよかけよ」で手を携え、協力し合って、お子様の健やかな成長を見守り、共に育んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、102名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。私達教職員や在校生にとっても、フレッシュな新入生を迎えることができることは何よりの喜びでありますが、皆さんの小学校生活のこの3年余りの間は、新型コロナのため、様々な学校生活が制限されたり、出来なかったりすることが続いて大変だったと思います。

金光学園でも、この3年数か月は色々な事が出来なくなってしまいました。しかし、そんな中でも、昨年度は制限の中ではありましたが、多くの事に取り組めるようになった1年となりました。

例えば先月の3月だけで申しましても、中学・高校ともに卒業式は、4年振りに在校生も出席しての卒業式を挙行することが出来ましたし、3月19日には音楽部コーラスが、第20回目の記念のコンサートを里庄のフロイデで開催することが出来、翌週の26日には音楽部吹奏楽団が3年先送りにしていた創部100周年の記念コンサートを倉敷芸文館で開催し、客席には座れないほどの多くの方にお出でいただき、喜んでいただきました。先程皆さんの入場の時の演奏も4年ぶりの事であります。

海外との交流もほとんどストップしていましたが、3月には10日余りの日程で、オーストラリアキャンベラにある姉妹校に20名の生徒が、やはり4年ぶりに行くことが出来、久しぶりの交流でしたが、大変フレンドリーに迎えて下さり、先週全員元気で帰国して来ました。また先週には、昨年から来校しているドイツとスイスの留学生に加え、新たにイタリア、アメリカ、パラグアイから留学生が来校し、週明けの10日の始業式では皆さんにも挨拶をすることになっています。

そしてこの秋には先程紹介したオーストラリアの姉妹校と、韓国にある姉妹校からも、大勢の生徒達が金光学園に来ることになっています。

皆さんが楽しみにしている部活動も通常通りの活動が出来るようになっていま

すし、3年間出来なかった中1の入校時合宿も、2週間後の20日・21日に4年ぶりに行うことにしています。入学式後のHRで、また説明があると思います。

秋に行われる体育会もほつま祭と言われている中高一緒に取り組む文化祭も楽しみであります。皆さんの入学後は色々な制限がなくなり、日常の勉強を中心に、先程申しましたように多くの事にチャレンジでき、沢山の友達と一緒に勉強できることは、大変喜ばしいことであります。色々な事に取り組むことが出来ると思うと、気持ちも明るく元気になります。私たちも皆さんを心から歓迎し、しっかり応援していきたいと思います。

ところで、皆さんは入学前にも、学園の合言葉である「人をたいせつに　自分をたいせつに　物をたいせつに」という合言葉を何度も見たり聞いたりしたことがあると思います。3月のスクーリングの時に教室に掲げられていたのが、この額です。後ろの保護者の皆様には見えにくいかもしれませんが、この言葉は正門の石碑にも大きく刻まれています。えんじ色のバックに金色の字で「人をたいせつに　自分をたいせつに　物をたいせつに」と書かれていますが、これと同じものが、皆さんがこれから勉強するすべての教室にかかげられています。この言葉は、生徒の皆さんにだけ、守ってもらおうというものではありません。生徒も、私たち教職員も、皆さんのお父さんやお母さんも、そして卒業生にいたるまで最も大切にしている言葉で、私たちは校訓と呼ばず、「合言葉」と呼んでいます。

金光学園ではこの「人、自分、そして物をたいせつ」に出来て、世の中のお役に立つ人を育てることを願いに、にちにちの教育活動を進めています。

どうぞ新入生の皆さんには、これから6年間かけてこの合言葉の中身をしっかりと身につけていただきたいと思っています。そして、人・自分・物を大切に出来る人、合言葉を実践できる人になっていただきたいと願っております。

もう一つお話をします。今日この後のHRで皆さんには、教祖様のみ教えが書かれているこのような日めくりを入学の記念品としてお渡しします。

今日の七日の日めくりの言葉は、「信心する者は　木の切り株に腰を下ろして休んでも　立つ時には礼をいう心持ちになれよ」という言葉が書いてあります。

例え木の切り株といえども、お世話になったものに対する感謝の気持ちを忘れてはならないということなのです。

明日の8日には「食物はみな人の命のために天地の神がつくりあたえ給うものぞ」という言葉が書いてあります。これには続きがあって「何を飲むにも食べるにも有り難くいただく心を忘れなよ」という言葉がさらに続き、食前訓といって金光学園では食事の前に唱える言葉でもあります。

私達があたりまえに過ごしている日常



生活も、実に多くの恩恵を受け、色々な人や物のお世話になっているのであります。今日のことでも、朝元気で目覚めさせてもらったこと、おいしく朝ごはんをいただいたこと、靴や服や鞄などにもお世話になってお互い今ここにいるのであります。

学校に来るにも車や電車のお世話になった人もあるでしょう。そして何より、お父さんお母さんを通して、天地からいただいた健康な命があるからこそ入学ができ、今日の喜びを感じることができるのであります。病気や怪我をしていたら今日の入学式にも出席することは出来なかったかもしれません。

これらのことはあたりまえと思うかもしれませんが、決してそうではないのです。改めて多くの人や物のお世話になっていることに心から感謝したいと思います。そして、今日から皆さんも合言葉の全てを大切にする心や、多くのことを感謝する心を大切にして、これからの学園生活を元気で頑張っていっていただきたいと思います。

勉強はもちろん、生徒会行事、部活動などいろいろな活動に全力を尽くし、心身を鍛え、豊かな人間関係を養い、友達と仲良くして立派な金光学園の生徒として成長していくようお祈りして式辞といたします。もう一度

「人をたいせつに　自分をたいせつに　物をたいせつに」

## 法人理事長挨拶

**和泉　正一**

（田淵美賀雄　常務理事代読）

天地の息吹を体いっぱいに浴びて、晴れて金光学園高等学校に入学された生徒の皆様には、誠におめでとうございます。それぞれに、希望を抱いてこの日をお迎えになったことでしょう。心からお祝い申し上げます。

保護者の皆様におかれましても、今日までお子様を愛情深く育ててこられ、晴れて入学の日をお迎えになりましたこと、誠にお慶びのことと存じ、心よりお祝い申し上げます。

また、金光教教務総長におかれましては、日頃から金光学園に変わりなく温かいご理解とご支援を賜っておりますこと、誠に有り難いことに存じ、厚く御礼申し上げます。

さて、わが金光学園では「真に世のお役に立つ人材の育成」を建学の精神として、「学・徳・体一本の全人教育」に取り組んでおります。国際的紛争の激発や感染症の世界的蔓延、そして、国内外の経済的軋轢・格差、人権侵害・差別、環境破壊など、これまでの世界秩序の枠組みが大きく変わろうとしている今こそ、人間として尊い行いを為すことができる全人教育が必要とされています。

「人間として尊い行いを為す」ということは、国家や民族を超え、老若男女の区別なく、人類の一員として、尊い行いを実践するということです。学問に励み、徳を身につけ、体を鍛えて、社会のお役に立つ人間にならせていただくために、「学・徳・体」を育てることに取り

組んでいるのです。
　社会のお役に立つというとき、最も小さな社会は家族・家庭でありましょう。家族あるいは世界・人類のお役に立つ、そのために、「学・徳・体」を身につけるのです。
　そして、それを身につけるための日々の実践として、「人をたいせつに　自分をたいせつに　物をたいせつに」という合言葉があります。この合言葉は、生徒のみならず、保護者、教職員、卒業生、みんなの合言葉です。
　私たちは、人や物に囲まれて生活しています。人や物の中心に自分がいるということです。そして中心にいる自分は、周りの人々や、周りにある物を大切にするとともに、周りを大切にしている自分自身をも大切にすることが重要です。そうしていくことによって、おのずから、人間として尊い行いを実践できる人格が形成されていくのです。
　これから先、学園生活を日々送っていかれる皆様には、建学の精神と合言葉をもって、みずから進んで、社会のお役に立つ生き方を求めていって、いただきたいと思います。

## 金光教　教務総長挨拶

岩﨑　道與

　また、保護者の皆様におかれましては、元の金光教教主・金光鑑太郎様がお詠みになった、「父母も子どもとともに生まれたり育たねばならぬ子も父母も」というお歌にあるごとく、生徒の皆様とともにお育ちになる心で、お子様方を見守り慈しみお育てになって、親子ともども、学園生活を意義深いものにして行っていただければ、誠に有り難いことに存じます。
　この場にご臨席の生徒の皆さん、保護者の皆様、そして教職員の皆様の、幾久しいご健勝とご活躍を祈念申し上げて、わたくしのお祝いの言葉とさせていただきます。
　新入生の皆さん、本日はご入学まことにおめでとうございます。今日の佳き日に当たり、一言ご挨拶申し上げます。
　皆さんには、この学び舎での勉強や部活動など、いろいろな取り組みをとおして、これから三年の間に、心も身体もお育てをいただき、「生きる力」を身につけていただきたいと願っております。
　さて、皆さんはこれから、「人をたいせつに　自分をたいせつに　物をたいせつに」という金光学園の合言葉に何度も触れることになると思います。そこで今日は、ご信心から見た「大切にする」ということについてお話をさせていただきます。
　キリスト教が日本に伝わってきて、聖書を日本語に翻訳する時に、今では「愛」と表現されている箇所が、当初は「大切」という言葉で書かれていたそうです。例えば「汝の隣人を愛せよ」という教えは、「汝の隣人を大切にせよ」となっていたということです。
　金光教でも、「実意をこめてすべてを大切に」というお言葉があって、「大切にする」ということを、それこそ、ご信心の上でとても大切にしていて、このあり方が、金光学園の合い言葉にも込められていると思っております。
　では、「大切にする」というのは、具体的にはどういうことを指すのでしょうか。それを考えるために、皆さんのことを大切にしてくれている親御さんのことを思い浮かべてください。皆さんが生まれた時、皆さんの親御さんは、皆さんのことを丸ごと受けとめてくれたはずです。かけがえのないものとして、そのまま受けとめてくれたはずです。それが「大切にする」ということです。
　金光教の神様・天地金乃神様も、私たち人間一人ひとりを神様の子どもとして、大切に、丸ごと受けとめてくださっています。かけがえのない存在として、そのまま受けとめてくださっています。そして、一人ひとりを大切にするために、金光教の神様は、教祖様に「お結界」という場を開かせ、そこでお取次という、神様と人間をつなぐ働きを始めさせました。ですから、教祖様以来、金光教のご本部広前をはじめ、各教会のお結界では、信者さんであるなしに拘らず、やってきた一人ひとりを大切に受けとめてくださいます。そして、お結界でのお取次を通じて、その一人ひとりがかけがえのない存在であり、だからこそ、それぞれが幸せになってもらいたい、という神様の願いを手渡すようにしています。ですから、もし皆さんが何か悩みや問題を抱えたのなら、遠慮なく、それをそのままご本部広前のお結界で、金光様に申し上げてみてください。金光様は、問題や悩みも含めて、皆さんのすべてを大切に受けとめてくださいますから。
　皆さんは、これからの学園生活をとおして、同級生や先輩後輩、先生方との、いろいろな関わりを持つことになります。その時に、「あの人はこういう人だから」といった先入観や枠組みで相手を見るのでもなく、また自分に対しても、「どうせ私は」と、自分で枠を当てはめるのでもなく、ありのままに、そのままに、相手も自分もまずは大切に受けとめてもらいたいと思います。そうやって、相手も自分もかけがえのない存在として大切に受けとめて、学園の合言葉に取り組んでいってもらいたいと思います。
　最後になりましたが、新入生の皆さんのここまでのいのちの運びを大切に支えてこられた保護者の皆様に対して、今日の日を迎えられたことの祝意を謹んで表しますとともに、このように輝く成長の種を、そのいのちに秘めた新入生を迎えられた法人関係の皆様をはじめ、校長先生、教職員の方々に対しましても、お喜びを申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。
　本日はまことにおめでとうございました。

## 中学新入生願いのことば

新入生代表　金光　安衣

　あたたかな春の訪れとともに、私たち102名は新しい制服に身を包み金光学園中学校の門をくぐりました。伝統ある金光学園中学校に入学できたことを、とてもうれしく思います。

本日は、私たちの新たな門出をこのような素晴らしい式でお祝いいただき本当にありがとうございます。

今日、ここで出会った私たち102名は「仲間」です。私たちは今、これから始まる新しい生活に大きな期待を抱き、希望に満ちています。また環境の変化等に少しの不安もありますが、この新しい出会いに感謝し、友情を築き、多くの仲間と支え合いながら、一歩ずつ進んでいきたいと思います。

中学校での3年間を有意義なものにするために、金光学園の合言葉である「人をたいせつに　自分をたいせつに　物をたいせつに」をいつも心にとめ、お世話になる全ての人や物、また全ての縁に感謝の気持ちを忘れず、勉強や部活動をはじめ、何事にも一生懸命に取り組み、先輩たちが築き上げてこられた歴史と伝統に恥じることなく、実りある生活を送り、立派な学園生になれるよう頑張ります。

最後になりましたが、校長先生をはじめ諸先生方、先輩の皆さま、不慣れな私たちですが、どうか温かい目で見守りいただき、お力添え、ご指導くださいますよう、お願いいたします。

## 中学保護者代表挨拶

**中塚　靖子**

先ほどご紹介に預かりました中塚靖子と申します。大変僭越ではございますが、新入生102名の保護者を代表しまして一言ご挨拶させていただきます。

シンボルのメタセコイアの新芽も色づきはじめたこの良き日に、先生方をはじめ、学園関係者の方々のお力添えをいただき、このような素晴らしい入学式を執り行っていただきましたことに深く御礼申し上げます。

子どもたちの努力が身を結び、今日この日を迎えることができましたことに、保護者として安堵感と喜びでいっぱいでございます。また先ほどは、理事長先生、校長先生をはじめ金光教教務総長様のあたたかい励ましのお言葉を頂き、心より感謝申し上げます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今日から憧れの学園生となり、これから始まる学園生活に期待に胸を弾ませていることと思います。

私事ではありますが、私自身も卒業生であり、実は、私の祖父も父も金光学園の卒業生であり、親子四代にわたりお世話になることに感激もひとしおです。また、金光学園は、家族のみならず社会に出ますと、年齢を超える多くの卒業生との繋がりに驚かされます。学園の卒業生であることは、大きな誇りと自信を与えてくれ、学園の伝統と歴史に感謝をする日々です。

今日、こうして学園の門をくぐりますと、学園生活の思い出が蘇ってきます。

特にこの体育館は、私がバレー部で6年間過ごした汗と涙と青春の日々が詰まった思い出深い場所です。

良き友と切磋琢磨し、支えあい、ともに成長した時間、また恩師から教えていただいたことは私にとってかけがえのない宝物であり、卒業してからも困難にぶつかった時、私を支え、勇気を与えてくれるものでした。また、そのような時間をともに過ごした友は、何年も時が経とうとも、お互いが心許しあえる無二の親友であり続けています。

また、金光学園の合言葉「人をたいせつに　自分をたいせつに　物をたいせつに」は卒業してからも常に心に刻まれ、幼児教育に携わる私にとっての大きな「道しるべ」となっております。

保護者として、金光学園の心の教育を土台にした人間教育のもとで、子どもたちが、学園の合言葉を実践し、6年間を通して生き生きとした学園生活を送り、良き友と出会い、様々な体験を積みながら、自分の夢に向かって努力し「世のお役に立つ人」になるために人間として大きく成長してくれることを願っています。私達、保護者もそれを応援し、支えていく所存であります。

保護者の皆様、子どもたちが同級生となったこのご縁を大切にし、これからどうぞよろしくお願い致します。

先日新入生招集日に校長先生が四代教主様のお歌を教えてくださいました。

「ちちははも子どもとともに生まれたり育たねばならぬ　子もちちははも」

この歌にありますように私達、保護者も、子どもたちと一緒に成長してきたいと思います。

先生方におかれましては、心身ともに変化の大きい年頃の子どもたちです。時には迷ったり悩んだり、立ち止まってしまうこともあろうかと思いますが、どうぞ、厳しくも暖かくご指導、お支えいただけますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、金光学園の益々のご発展とお集まりの皆様方のご健勝を心よりお祈りし、保護者代表の挨拶とさせて頂きます。

本日はありがとうございました。

## 高校新入生願いのことば

**新入生代表　藤井　千夏**

暖かな春の訪れとともに、新入生155名はこのように盛大な入学式を挙行していただき、晴れてこの日を迎えられることに心から感謝いたします。

私は3年前に金光学園中学校に入学しました。その頃から新型コロナウイルスの感染が広がり、オンライン授業から中学校生活が始まりました。ほつま祭や体育会では、制限がある中で仲間と目標に

向かって協力し、最高の思い出を作ることができました。先行きが見えない中でも同級生と工夫しながら、たくさんの行事に取り組んだことで、一人ひとりが成長できました。そしてこれからは高校から新たに加わる41名とともに、有意義な高校生活を送りたいと思います。

私は将来、日本の文化や伝統を海外に広めていきたいと思っています。そのためには、英語に触れる機会を増やし、海外の人達に伝わる英語の能力を身につけることが必要です。ありがたいことに、金光学園は国際交流が盛んで、多くのことを学ぶことができる素晴らしい学校です。そんな環境の中で生活することで、夢を実現できるチャンスが広がると私は考えています。

しかし、夢を持つことは誰しもができることですが、実現することは簡単ではありません。「人生が夢を作るんじゃない！夢が人生を作るんだ！」これは、ワールド・ベースボール・クラシックで、日本を優勝に導き、ＭＶＰに輝いた大谷翔平選手が、高校時代に作成した人生計画表に書いた言葉です。計画表の27歳の欄に、ＷＢＣ日本代表ＭＶＰと記しました。それから約十年を経て、高校生の時に思い描いた、将来の目標の一つを実現させました。しかし、彼は「まだ通過点」と語っていました。彼にはまだ叶えたい夢がたくさんあり、まだ人生の途中なのです。私も大谷選手を見習い、夢や目標をたくさん持って、今の現状に満足するのではなく、逆算しながら自分が思い描く人生を作り、それを実現するために努力していきたいです。

校長先生をはじめ、諸先生方、そして両親にはこれからも厳しく、そして温かく私たちをご指導くださいますようお願い申し上げ、願いの言葉とさせていただきます。

## 高校保護者代表挨拶

大目　憲正

ご紹介いただきました大目と申します。新入生の皆様ならびに保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。令和５年度金光学園高等学校入学式という晴れやかなスタートにあたり新入生の保護者代表と致しまして一言ご挨拶をさせていただきます。

まずは、校長先生をはじめとする先生方、あたりまえのことができない近年の中で、このような素晴らしい入学式を開催していただき、まことに感謝申し上げます。親としても子どもの中学3年間の行事ごとがたびたび制限されたことを思い起こし、今日この入学式に通常どおり参加できたことを感慨深く感じております。本当にありがとうございます。

さて新入生の皆さん。あらためましてご入学おめでとうございます。皆さんの中には中学から引き続きこの学園にすんだ方もいれば、今日から金光学園で新たな学校生活をスタートさせる方もいらっしゃると思います。入学の経緯はそれぞれ違えど、皆さんに共通することは9年間の義務教育を終え、自ら決断して今日からこの金光学園高等学校に入学したということです。

人生において最も大きな環境の変化の一つである高校進学は、決して当たり前のことではなく、皆さんにとっても大きな決断であったはずです。自ら選んだこの学園で、皆さんは高校3年間を送ることになります。そしてこれからの3年間はさらなる大きな決断「進路」につながる大切な期間となります。

皆さんには全ての可能性と未来があります。3年間は一瞬ではありません。当然進路も一瞬で決まるものでもありません。すべての可能性は日々の選択いわば小さな挑戦を積み重ねた結果です。親として思うことは、最後は自分が納得する道に進んでほしい。そのために必要なのは後悔しない挑戦を続けられたかどうかだと思っています。何でもいいです。一日一日の小さな挑戦を大事にしてこの3年間を積み重ねて下さい。

そしてもう一つ希望することは、この3年間という高校生活を「どうすごしたか」だけではなく「だれとすごしたか」で語って欲しいということです。楽しいことやうれしいこと、時にはつらいこと、そのすべてを共感しあえる仲間とたくさんの思い出を作ってほしいと願っています。高校生活は3年間ですが、仲間は一生です。

「つらい時は頼っていい。こまっている仲間がいれば助けてやってほしい。」皆さんは、これまでたくましく強く成長してくれました。これからも、その強さを仲間のために使ってください。その優しさや思いやりが一生の宝につながるはずです。順調にいけば3年後の卒業式にまた私はここに来ることができます。成長した皆さんの姿を拝見することをたのしみにしております。

最後に先生方、うちの子どもたちをよろしくお願いいたします。頭の良し悪しは仕方なし、ですが心の良し悪しは難儀します。どこまでいっても親はこどもの応援団ですが、見えない時間が多すぎます。どうぞあたたかく、時には厳しくわれわれの子どもたちを支えてやってください。3年間よろしくお願い致します。

以上簡単ではございますが、保護者代表の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

# 道 (35)

金光　道晴

## 卒業50年周年記念　兼　古希記念同期会

金光学園は明治27（1894）年の創立で、今年129年を迎え、来年は130年という節年を迎えます。戦前の旧制中学の卒業生は50回を数え、戦後の学校教育法施行による6・3・3制が始まってからの新制高校の卒業は、今春の卒業生で第75回目ということになりました。私自身も本校の卒業生ですが、自分の事で申せば第23回の卒業生ですので、今春の卒業生から言えば、半世紀以上前の卒業生という事になります。

私達の期は卒業以来これまで、ほぼ4～5年おきに同期会を開いてきていましたが、この新型コロナのために3年前に開催予定であった「卒業50周年の記念同期会」は開催出来ず、先延ばしにせざるを得ませんでしたが、その延期していた同期会に加え、昨年は古希を迎えたということで、古希を祝う記念同窓会も合わせて開催しようという相談をしていましたが、もちろんこれも開催出来ませんでした。しかし、この5月8日からコロナ感染症も2類から5類に引き下げられるということになったので、先日の5月28日に、卒業以来13回目になる延期していた同期会を7年ぶりに87名の参加で開催することができました。私達が教えて頂いた恩師の先生の多くは既にお亡くなりになったり、ご高齢で参加が難しかったりですが、それでも4名の先生（森田重則、植田桂之、難波正士、佐藤泰三の4先生）は元気に出席していただけました。開会に先立って、お亡くなりになった恩師の先生方と36名の同期生に心からの黙祷をささげ、同期会が始まりました。

出席者は、地元の卒業生だけではなく、東京・京都・大阪・四国などの遠隔地や、県北や広島県から来ていた寄宿舎生などの出席者も数多く、中には卒業して初めて（50余年ぶりに）参加する卒業生もいました。それぞれ年を重ねても昔の面影が残っており、すぐにわかる人が大部分であった一方で、自己紹介をしてもらって名前を聞いても、当時の卒業アルバムと見比べてみても、思い出すのに随分時間がかかる人もいました。しかし、話をするうちに、あっという間に半世紀以上昔の中学生や高校生にタイムスリップし、当時の学園生活での思い出話に花が咲きました。先生の事、友達の事、授業の事、部活動の事、修学旅行の事など、嬉しかったことや、失敗をしたことなど話し尽きず、みんな少年・少女時代に戻って、学園生活を懐かしく思い出し、楽しく貴重な時間を過ごすことができました。

またそれぞれの近況報告では、自分が

頑張っている趣味のこと、仕事のこと、健康や病気のこと、既にお亡くなりになった両親のことや介護をしている親のこと、家族や子供たちや孫たちのことなど、いつまでも話が尽きることはありません。正午から始まって15時までの3時間の1次会もあっという間に過ぎ、続いて同じ会場内で部屋を移しての17時までの2次会も60人近くの多くの人が残り、なおなお、話が続きました。

そして別れる時には、「次は元気で喜寿の同窓会で会おう」とか「いやいやそんなには待てない。もっと早く開催して欲しい」などと口々に話し、別れを惜しみながら、再会を約束し、お開きになりましたが、3次会まで行った人も多かったと思います。

私は立場上、各地で開催される同窓会や各期の同期会に、出席させて頂く機会が多いので、大変なこともちろんありますが、学園の卒業生の温かい雰囲気の同窓会の中で、何より母校金光学園に熱い思いを持っていて下さる卒業生の方々の思いや願いを肌で感じ、いつも元気をいただいています。この3年余りの間はほとんどそのような機会もありませんでしたが、今年からはまた元に戻って、ストップしていた同窓会も次々に開かれるようになると思います。

すでに、8月11日に学園で開催される年1回の同窓会総会をはじめ、それに先立って近畿支部と東海支部の同窓会は6月25日に開催され、東京は来たる10月8日の開催が決まっていますし、お盆の頃や秋にも、すでにいくつかの期の同窓会が予定されています。

これからはまたこれまでのように多くの卒業生の皆さんにお会いできることになると思うので、楽しみにしているところであります。同時に、今の若い卒業生や生徒達にも、卒業してからも後も、同窓会を開いたり、各支部の同窓会に出席したりして、同級生や先輩や後輩などと、同窓生としての輪を広げていっていただきたいと思っています。そして、いつまでも母校に対して熱い思いを持ち続ける卒業生でいていただきたいと思っているところであります。

# 自画像

**岡本　和子**

4月より非常勤講師として勤務させていただいております、岡本和子と申します。担当は、教育相談室と音楽部吹奏楽団の部活動顧問です。

私自身も中高6年間を過ごした金光学園で勤めることができ、大変嬉しく思います。迷い立ち止まることの多い学校生活でしたが、進級や進学のために親身にご指導くださった先生方のおかげで今日の自分があると感謝しております。

部活動では音楽部吹奏楽団に所属し、団体の中で礼儀や助け合うことの大切さ、音楽を聴いたり演奏したりする楽しさ、いろいろなことを学びました。社会人となった今でも、仲間たちとの思い出は大切な宝物として私を支えてくれます。

生徒一人ひとりの学園生活が素晴らしいものになるように精一杯お力添えさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

**竹内　仁志**

今年度より、金光学園高校に非常勤講師として勤務させていただくことになりました竹内仁志と申します。授業は高校1年の数学を担当させていただきます。部活動は野球部をお手伝いさせていただきます。

3月にWBCで日本を優勝に導いた栗山監督は大学の野球部の後輩です。その優勝インタビューの中で選手たちを信じてやまない監督が次のように語っていました。『できるかできないかではなく、やるかやらないかである』と。また『失敗したら次にどうやったらできるか』と。この二つの言葉はさまざまなことにチャレンジしている中高生にも当てはまるのではないかと思われます。生徒の皆さんの夢、目標を実現するために学校生活全般に粘り強く挑戦してほしいと願っております。どうぞよろしくお願いいたします。

**長江　智子**

今年度より金光学園に常勤講師として勤めることになりました長江智子と申します。高校2年団に所属しており1組の副担任で英語を担当させていただいています。

私は学生時代を金光学園で過ごしました。卒業してから長い年月が過ぎましたが、今回ご縁があり母校で勤務させていただくことを大変嬉しく思うと同時に気の引き締まる思いでいます。久しぶりに校舎を目にすると当時の様々な思い出が蘇ってきました。中高の学生時代は勉学だけでなく様々なことに挑戦し、人間的にも精神的にも成長できた6年間でした。英語に興味を持ち始めたきっかけも学生時代の経験からでした。

生徒の皆さんが充実した学校生活が送ることができ、目標が達成できるように精一杯サポートを頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

**長谷川千華**

昨年度の1月から、金光学園に非常勤講師として勤務させていただくことになりました長谷川千華と申します。授業は高校1年生の家庭科を担当しております。

私は大学1年生の時に家族関係や生活時間について学んだことがきっかけで、家庭科の魅力に気付き、その魅力を多くの人に伝えたいという思いから家庭科の教師になることを決めました。昨年度の1月から家庭科の教師として金光学園に勤めさせていただき、大変嬉しく思います。

家庭科はみなさんの生活に密着している教科であり、学校生活やこれからの人生をより良く、充実したものにするために大切な教科であると考えています。家庭科の学習を通して、皆さんが自分の生き方を考えたり、自分らしさを見つけたりできるよう精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

**藤原　祐気**

今年度より非常勤講師として勤務させていただくことになりました藤原祐気と申します。金光学園を卒業し、以前も臨時常勤講師として金光学園ではお世話になっていたこともあり、大変縁を感じています。今年度は中学2年生の理科Ⅰを3クラス担当することになりました。

私は小学校の時分より金光学園の行事に参加していたこともあり、金光学園をより身近に感じていました。一日入学に参加し、当時の科学部の顧問だった先生のもとで部活をしたいという気持ちで金光学園を受験しました。また、それがきっかけとなり教育の道へ進もうとも考えるようになりました。このように、ふとしたきっかけで金光学園に通うようになった私ですが、今度は、私がそんな役割になりたいと思い、金光学園で勉強を教えるだけではなく、金光学園わかばプロジェクトで行っている土曜チャレンジ講座やサマースクールにも携わっています。何かのきっかけで金光学園に興味を持ってもらって、皆さんのためになったらと考えています。

学童保育の支援員と兼業ということもあり、午前中しか校内にいませんが、皆さんの力になっていければと思っています。どうぞよろしくおねがいします。

**畑田　明子**

昨年10月から非常勤講師として勤務させていただくことになりました、畑田明子と申します。高校家庭科を担当しております。

私は高校3年間、金光学園でお世話になりました。学校生活は「人をたいせつに　自分をたいせつに　物をたいせつに」という合言葉の元、貴重な体験を沢山させていただき、それだけでも素晴らしいものでしたが、何より心に残っているのは、ブラスバンドで過ごした毎日でした。沢山の先輩、後輩、仲間達との部活の中で、人を思いやり、助け合い、切磋琢磨し、人間的に大きく成長させていただいたと、本当に感謝しております。いつか、学園に恩返しがしたいと思いながら過ごしていましたが、3年前から動き出した、創部100年の記念のコンサートを無事に終えることが出来、演奏者として参加出来ただけでなく運営としても関わらせていただき、今まで関わってくださった方々に御礼を申し上げ、喜んでいただけたことで、少しはお役に立てたのでは、とほっとしております。

これからも、私が学園で培った事を伝え、次の世代に繋げていけるように頑張りますので、よろしくお願い致します。

活躍する卒業生

# ものごとに真摯にまっすぐ向かい合い、とことん追求する

## 株式会社epic 代表取締役 兼 デザイナー 横畑 早苗（五三回卒）

**■プロフィール**

横畑　早苗

株式会社 epic　代表取締役／ブライダルブランド「nae. ATELIER（アトリエナエ）」デザイナー

1982 年岡山県出身。2001 年金光学園高等学校卒業。2005 年国際基督教大学教養学部社会科学科卒業後、服飾専門学校エスモードジャポン東京校スティリズム専攻にてデザインを学ぶ。2008 年株式会社ユニクロに入社。ウィメンズカットソー部門でカットソー全アイテムのデザインに従事したのち、2011 年に独立。レディース服ブランド〝アトリエナエ〟を設立。2013 年よりブライダル専門ブランドへと転向し、東京恵比寿に自社サロンを構え、シンプルでモードかつ普遍的な美を追求したウエディングドレス、カラードレス、タキシードのセミオーダーとレンタル事業を行っている。2023 年秋冬パリファッションウィークにてデビュー。シルバーアクセサリーブランドデザイナー、女子大学の制服デザイン提供など、ブライダル以外の分野へも意欲的に取り組んでいる。

私は、自身が経営する株式会社ｅｐｉｃにおいて、オリジナルのブライダル衣裳と小物の企画デザイン・制作・小売・レンタルサロン運営、その他外部と協業で制服デザインを行っています。東京恵比寿のブライダルサロンへは、毎日ご結婚式を控えたご新郎ご新婦様がお越しになり、ご試着を重ねながら大切な1着を選ばれたり、お式に向けてのトータルのコーディネートを組むお打ち合わせをされたり、いよいよお式を1週間後に控えたお二人が最後の確認をされたりしています。

絶対に失敗が許されない一度きりのご縁で成り立つブライダルの世界は、常に緊張感と責任感が必要な厳しい世界ですが、そんな大変さを凌駕してしまうすごいパワーがある、この仕事ならではの最大のやりがいがあります。

それは、最高に幸せで特別な1日を執り行うために大事な役割を担う〝衣裳〟という面で、ご新郎ご新婦様の気持ちや存在を根幹から支えられること。そして、お式のあとに「この衣裳にしてよかった」「私らしいととても褒められた」と温かなメッセージとともに御礼のメールやお写真をいただけること。

そこには、人の「嬉しい」「幸せ」とともに「ありがとう」の最上級の気持ちが込められています。それを受け取る度に毎回、大切な1着に自分のデザインした衣裳をお選びくださったことへの深い感謝、私達を信頼して任せていただけたことへの有り難さ、お見送りができた達成感、ハレの日に向けての貴重な準備期間を伴走させていただく中で心のやりとりができた嬉しさなど、すべて普段では得難い気持ち―大げさではなく〝生きていてよかった〟という気持ち―になるのです。それが味わい続けたくて、この仕事をしています。

私が仕事をする上でいつも大事にしている軸は、「ものづくりで人の役に立ちたい」ということです。噛み砕くと「この世に足りていないものやあったら良いものを、固定概念に捉われず作り出し、欲している人に届けることによって、人の心を満たす役に立ちたい」ということです。

そのために「なんのために、誰のために、それをするのか。そこには意義があるのか。」という問いをいつも念頭に置いています。会社経営を行うこともドレスデザインをすることもスタッフ教育も、すべてが同じ〝ものづくり〟（デザイン）と捉え、同じ問いを常に繰り返します。行いたいことに意義があると思えたら、ゴールの日やレベルを設定して、そこに至るまでの具体的な計画を立て、着実に進んでいく。進む中で試行錯誤することも多々ありますが、それがまた学びと内容のブラッシュアップへとつながっていきます。

こんな風な「理由のある動機作り→目標達成に向けての必要事項の計画立て→各項目の詳細の計画→実行」の思考の癖がついたのは、中学校から高校6年間の各試験勉強の経験が根源にあります。また、一つずつに集中して真剣に取り組み、目標を達成するまで途中やめをしないという精神は、中学校時代所属の剣道部で培った考え方と精神力が活きています。

金光学園中学校2年生で突然成績のスランプに陥った時、中学1年生の夏休みの宿題で出た、勉強の時間割設定を思い出しました。むやみやたらに勉強をする前に、次の試験期間までの2週間、自分なりに日割りの計画表と日々の時間割を作って、それを実行してみるということを試してみました。結果、各科目の自分の進み具合や理解度が客観的に把握でき、足りない部分は補足でき、焦ることなく試験期間を迎え、成績も予想以上の結果を出すことが出来ました。それが初めて、自主的に計画を立て成果を挙げたという成功体験になり、それ以降は大学受験や大学中の試験まで同じ手法を取って乗り越えていました。

「始めたことを半端な形で途中やめをしない」これは私が子供の頃からの両親の方針ですが、しっかりと自分の中に根付いたのは、中学校時代の剣道部に所属したからでした。小学校時代から足掛け10年間続けた剣道でしたが、試合では弱く、突出した技術や強さもない私に対して、顧問の先生は辛抱強く期待をかけて向き合ってくださいました。稽古が辛くて、何度もずる休みをしてしまったのに、変わらず厳しいハリのある声で稽古を付けてくださり、絶対に中途半端に逃げることはしてはいけないんだ、と身をもって実感しました。稽古終わりには、明るい声で声を掛けてくださり、厳しい空気感を払拭してくださっていたのも、今思えば、会社経営を行う自分自身がそのまま真似すべきお手本であったと思います。

中学校・高校と、在校中には自覚していなかった数々のことが、実は今現在の自分の根幹の大部分を成していることに気付きます。一番未熟で成長過程な6年間を、金光学園で過ごせたことを心からありがたく思います。

これから、金光学園で学び社会に出ていく方々から、世界の文化や情勢を理解し、その時の世の中の少し先を読み、「それが欲しかった」というものづくりを通して社会貢献にチャレンジする方が増えることを祈っております。

# メタセコイア

**囲碁将棋部・他**
**第59回全国高校将棋選手権大会**
**岡山県予選会入賞**

第53回岡山県高校将棋大会を兼第59回全国高校将棋選手権大会岡山県予選会が行われ、全国大会に繋がるA組は棋力の高い選手が競い、個人戦で高校3年生の藤井敬久君が第5位に入賞しました。「今まで惜しいことが何度もあり、ずっと入賞を目指していたのでとても嬉しい。」と喜び、「大学でも何らかの形で将棋を続けていきたい」と語ってくれた。なお、団体戦B組は留学生の高2ジョエル・ウンバク君、高3柳澤賢君、高1石村心君が3位に入賞した。

## 表紙の言葉

中2　和田　悠里

「夏嵐　机上の白紙　飛び尽す」

私は、この句を読んで、暑い夏の中、何もしたくなくてごろごろしていたら、強い風によって机の上に置かれていた白紙が何枚も飛び散って何が何だか分からなくなっているのだと感じました。真っ白な紙が風によって飛ばされていくように、私たちも社会へと羽ばたいていくのだと思います。

私は、この版画を彫るときに、紙一枚一枚が生き生きしているように動きを付けるにはどうしたらよいかを考えながら作業しました。彫るのが難しくても、一枚一枚動きをつけるために、どのようにすれば動きがなめらかになるのだろうと、実際紙を使って紙の動きを確認しながら彫りました。

夏嵐という季語の通り、夏にぴったりな句なので、色味や、爽やかな雰囲気が出るように頑張りました。

作品のように生き生きとして、社会に出られるようになりたいです。



# 活躍おめでとう

**《高校バレーボール部》**
**中国大会出場**

5月12日（金）～14日（日）にかけて鳥取県民体育館で行われた第75回中国高等学校バレーボール選手権大会に高校男子バレーボール部が出場し、見事全国大会の切符を手に入れました。

マネージャーの高3中山聖那さんは「この中国大会で、改めてみんなの強さを知りました。ベンチでスコアを書きながらプレーしているのを見ていると、自分もコートにいるような感覚になり、一緒に声を出してしまいます。

特に2試合目はとても盛り上がって、部員、監督、コーチ、保護者の方が一体となり応援できたから、選手も思いっきりプレーすることができたと思います」と語ってくれました。

次のインターハイ予選、インターハイでのベストな結果を期待しています。

**《高校卓球部》**

私達高校卓球部は6月17日から6月19日に広島のグリーンアリーナで開催された中国大会に参加した。

県大会では、総社南高校に2―3で敗れ、ベスト4入りを逃し、津山高専に3―0、岡山商科大学付属高校と岡山東商業高校にに3―1で勝利し、県5位で中国大会出場を決めた。自分達で奪ったベスト4を最後の試合で奪還されるのはとても悔しいものだった。

その悔しさと冬に全国に一歩届かなかった悔しさを糧に、自分達で課題を見つけ、解決策をみんなで考え、部員全員で努力し合うことが出来た。

結果は1回戦目の鳥取商業高校に3―0で勝利し、2回戦目の呉青山高校に0―3で敗れ、ベスト16という結果になった。全国出場を果たす事は出来なかったがみんなで悔しい思いを共有し、最後までみんなで高め合うことが出来た経験は私の中で実績よりも大切なことを得ることができたと感じる。

# ここから通っています 学園生の故郷

## 岡山県岡山市箕島

中1の父　西原　耕司

今年より息子が学園にお世話になっております。このたび、故郷の岡山市を紹介する機会をいただき感謝しております。

岡山市は、岡山県の南東部に位置する都市。全国的には桃太郎の伝説と吉備団子や西大寺会陽（はだか祭り）が有名であり、温暖な瀬戸内の気候により育まれたマスカットや白桃などの高級フルーツの産地として知られています。

歴史的には古代より吉備文化の発祥地として栄え、市西部には造山古墳をはじめ今も多くの史跡が残っています。中心部には、岡山城や日本三名園の一つである岡山後楽園があり、豊かな自然と文化が調和した都市空間を形成しています。

岡山市内は四行政区（東南北中）に区分されていて、私達は南区の箕島という地域に住んでいます。山や平地、果樹園や田畑、

そしてため池などがあり自然が多く、傍近に早島インターがあり、中四国のクロスポイントに位置しております。高い交通利便性を有するとともに子育て、教育施設、医療・福祉施設などの機能や商業機能が充実した、高い利便性を備えた住みやすい場所として、宅地の開発が進み、新しく移り住まれた方が多くいらっしゃいます。

実は、私達夫婦もこの箕島地域に移り住んだ住人の一組になります。私は倉敷市児島、妻は都窪郡早島町の出身で、結婚後の新居として移り住みました。そして日々の暮らしの中で地域の方と親睦を深め、妹尾・箕島地区の歴史に興味を持ちました。

教育について妹尾・箕島地域は非常に古くから庶民教育の地であった。いわゆる官制（為政者が設置する学問所）ではなく、「庶民による、庶民のための」教育である。元亀元（１５７０）年、地域の平民「矢吹一郎右衛門」によって始められた「矢吹学舎」がそれで、我が国で最も古い長野県の文明３（１４６９）年の寺子屋から数えて６番目に古い位置付けになる。その後、明治に至るまで国内で一万五千数百の寺子屋ができたことを思えば「矢吹学舎」がいかに古いかがわかる。７歳から16歳ころまでの男女合わせて200人を越える児童が習字、算術から始まり往来物や「女大学」といったものまで学んだ。明治５年に学制が敷かれ、小学校制が始まると「矢吹学舎」は幕を閉じたが、現在の岡山市妹尾小学校の紋章に



は矢吹家の紋章をかたどったものが採用されており、箕島にも同様大橋学舎跡が残されていて、その精神が引き継がれています。

この地域は地域活動なども活発に活動しております。「妹尾・箕島を語る会」の方々が小学校の子どもに寄り添い、わかりやすく歴史のお話をしてくださったり、「箕島ふれあいの里ホタルを守る会」の方々と一緒にたくさんの生きものにふれあい、ホタルの生息地として残っている場所で繁殖活動の経験もさせていただいたりしました。

夏には小学校で夏まつり、秋には箕島神社のお祭りで町内ごとに神輿をかつぎ、元気いっぱいの子ども達の声が聞こえてきます。そんな恵まれた環境の中で幼少期を過ごせた息子にとって、金光学園の「土曜チャレンジ講座」に参加させていただいた際に、学園の歴史や校風にふれ、地元と同様の暖かみを感じ金光学園への受験を決意したのだと思います。

息子も春から中学生になり、今まで苦手だった早起きをして、初めての電車通学での新生活がスタートしました。６年間一緒に過ごした地元の友達と離れ、寂しい横顔を見せる場面もありますが、それ以上に金光学園での新しい出会いと経験、学園の生徒であることの喜びに満ち溢れた毎日を過ごしています。思春期であるが故に戸惑い、思い悩むこともあると思いますが、中・高６年間を明るく健やかに学生生活を送ることを願ってやみません。

親子共々６年間よろしくお願いいたします。

## 兵庫県加古川市

高1の母　柳本　恵美

今年４月より御縁をいただきまして、息子が金光学園にお世話になることになりました。我が家は、金光町より東へ約140㎞離れた近畿地方、兵庫県加古川市にあります。少しでも加古川市に興味を持っていただける機会になれば幸いです。

加古川市は、兵庫県南部の播磨灘に面し、播磨平野を貫流する加古川河口に広がる自然豊かな地域です。海岸側には、わが国有数の鉄鋼工場が広がっており、播磨臨海工業地帯の一翼を担っております。一方、内陸部では上海から持ち帰った手回しの靴下編立機をきっかけに、靴下製造業が芽生えました。現在では、奈良県、東京都とともに日本三大産地に発展し、加古川市の代表

的な地場産業となっています。また国宝建具という木材をパズルのように複雑に組み、華麗で繊細な手仕事による細工が施されている建具があります。江戸時代から続く伝統な地場産業で、独自のデザインと確かな技術は全国的にも有名です。

加古川市は古代に一地方豪族の領地であったと思われ、今も市内の各所に古墳や廃寺等の歴史遺物が残っています。中でも

有名なものが、国宝などを多数所蔵する鶴林寺です。境内及び塔頭の周囲三方が自然豊かな鶴林寺公園として整備されており、C11系蒸気機関車も展示されています。週末には多くの人でにぎわっています。また、このような豊かな自然、歴史、文化が調和する播磨路を舞台とした『加古川ツーデーマーチ』というウォーキングイベントが毎年11月頃に行われます。他府県から多数の参加者が訪れ、加古川の魅力を知っていただくよい機会となっています。

加古川には地元の味を生かした名物グルメが多くあります。代表的な名物料理は、『加古川かつめし』です。平らなお皿にご飯を盛りつけ、その上に牛カツをのせ、たっぷりの加古川市独自で作られたデミグラスソース系の秘伝のたれをかけ、ボイルしたキャベツを添えたものです。お箸で食べることが常識だそうです。近所のスーパーでもかつめしのたれが売られており、各家庭でも簡単に作ることができます。また、学校給食にも登場します。加古川市民にとってのソウルフードとして愛されているのが、この『加古川かつめし』なのです。さらに、加古川和牛、パスタ、みそに酒なども有名です。中でもパスタは『加古川パスタ』と命名され、平成29年度からは種子の自家生産を行い、種子生産、栽培、加工の工程が加古川で行われています。このように個性あふれる食が充実しています。

加古川市には教育、文化施設も充実しています。きれいな北部の見晴らしの良い丘の上にはみとろフルーツパークがあります。初夏から秋にかけて、スモモやブドウをはじめ、栗や柿などの果物狩りが体験できる場所となっています。市内の小学校の校外学習先になることも多く、たくさんの人が訪れる市民の憩いのスポットです。加古川市立漕艇センターは加古川大堰上流域の水面をボート場として活用し、競技を通じて青少年の育成と流域の活性化を図るための場となっています。また加古川市の海をテーマにし、海について遊びながら学べる仕掛けがいっぱいの子どもから大人まで楽しむことができる海洋文化センターもあります。気軽に足を運ぶことができる施設で小さな子どもが遊ぶことのできる浅い海水プールもあり、週末や夏休みなどは家族連れでにぎわいます。スポーツ設備、図書館、音楽ホールを備えたウェルネスパークなど様々な施設があります。このような施設を通じて、市民ひとりひとりが健康で生き生きと暮らせるまちづくりに取り組んでいます。

今の時期は、加古川市の花であるつつじが見頃です。市のいたるところに彩り鮮やかに咲き誇っています。

最後までご高覧いただきまして、ありがとうございました。またこのような機会をいただきましたことを感謝いたします。

# 中学生になって

## 「文武両道を目指す」

1組　小林　天

中学生になって自分ががんばりたいことは部活動です。自分は野球部に入ります。野球部に入って上手くなることも大事だけれど、それだけではなく、先輩や同じ学年の人とのコミュニケーションを大切にしたいと思っています。そして、金光学園の野球部が全国大会に行けるように練習することも忘れずにしていきたいです。

もちろん、部活動だけでなく勉強もきちんとしていきたいです。自分は文武両道を目指しています。どちらかにかたよらないようにしていきたいです。そのために授業をきちんと聞いたり、家に帰って復習したりするなどして、文武両道を目指していきたいです。

それからもうひとつがんばりたいのは、良い友達づくりをすることです。無理に友達づくりをして流されるのではなく、きちんと自分を適度に主張して笑い合える友達をつくっていきたいと思います。もちろん一部ではなく学校全体の人ともそのような関係になって楽しい学園生活を過ごそうと思います。がんばりたいです。

## 「チャレンジしたい」

2組　平井　慶太

ぼくは、金光学園生として中学校生活を送ることをとても楽しみにしていました。そして、学園生となった今、うれしさとワクワクでいっぱいです。それと同時に学園生としての自覚を持ち精一杯がんばろうという気持ちもあります。がんばりたいことはたくさんあります。でも、その中でも中学校生活で特にがんばりたいことは二つあります。

一つ目は、「あいさつなどのマナーを守る」ということです。なぜなら、あいさつをしたりマナーを守ったりすることで、相手も自分も周りの人も気持ち良く過ごすことができるからです。ぼくも実際、小学生の時あいさつをしてもらうと一日を元気に楽しく過ごせました。なので中学生になっても忘れずにあいさつをしたりマナーを守ったりしていきたいです。

二つ目は、「文武両道」です。小学生のころも文武両道を目指しがんばっていました。でも、中学生になると勉強もレベルアップしているのでその中でも勉強

もスポーツもがんばっていきたいです。そのためにぼくは、「時間を見て行動する」ことを大切にし、しっかりけじめのついたよりよい生活を送っていきたいです。

最後に、ぼくは中学校生活を楽しく有意義なものにしていきたいです。さらに、様々なことにもおそれずチャレンジし明るくカッコイイ中学生になりたいです。そして何よりもすばらしい仲間達と最高の思い出をたくさん作っていきたいです。これからの中学校生活がとても楽しみです。あと一つ、忘れてはいけないのが「気持ち」です。中学生だ、やったぁと浮かれ過ぎても、ネガティブな気持ちでもいけないとぼくは思います。なので、整った気持ちで一日一日を過ごしていきたいです。

## 「感謝の気持ちを忘れずに」

**3組　髙見　侑佳**

私は、中学生になって小学校ではできなかったことをたくさんしたいと思います。小学校は六年間クラス替えはなく、決まった友達や先生と日々を過ごしていました。しかし金光学園はいろいろなところから通う人、年の離れた先輩、これまでにあまり経験してこなかった事柄ばかりです。それが不安になる点でもあり、金光学園の魅力でもあると感じています。努力を重ねて入った学校なので、思い切り楽しみたいです。

具体的には勉強と部活動の両立に力を入れようと考えています。英語、数学、苦手だからこそ基本的なところから頑張りたいです。勉強ができてこその部活動だと思うので、少しずつ、着実に学びを広げていきたいです。

行事の種類も豊富で、今からとても楽しみです。友達や他の学年と関わることで親睦を深め、大切なものをたくさん学べたら良いです。協調性や計画性、ここでしか学べない様々なものを全力で楽しみながら学べるよう頑張ります。

最後に「人をたいせつに　自分をたいせつに　物をたいせつに」を意識しながら日々を過ごしたいです。これから六年間あらゆる人のお世話になって成長してきます。当たり前だと思わず、常に感謝の気持ちを忘れずにいたいです。これから始まる生活のすべてが未開拓であり、楽しみなことばかりです。将来につなげるためしっかりとした自分の意見と知識を持ち、生活を共にする友達とのたくさんの思い出が作れるよう努力します。ここで身につけるものは生きるうえでの一生の武器になると考えています。後悔が残らないような学びと、友達との大切な思い出を作っていきたいです。

## 「4つの頑張りたいこと」

**4組　渡邊　昴**

僕には、中学生になって頑張りたいこ

とや楽しみたいことが大きく分けて4つあります。

1つ目は部活動です。小学生まではクラブ活動がありましたが、クラブでは、どちらかと言うといろいろな学年と楽しく関係を深めるのが目標でした。中学生からの部活では、大会等があり、全力で頑張ることができるのが良いところだと僕は思います。僕は今、サッカー部に入りたいと思っています。だから、勉強と同じように部活動も一生懸命に取り組んでいきたいです。

2つ目は英語の勉強です。理由は小学生でも英語の勉強はあったけど、中学生からは英語の授業の時間も増えるし、テストなどもあります。そして中学3年生ではオーストラリア研修もあるので、その時に困らないように、今からしっかりと英語の聞く、話す、書くをマスターしていきたいです。

3つ目はほつま祭です。小学校ではこのような文化祭的な行事がなかったので、まだ何をするのか全くわかりませんが、先生や先輩が、金光学園の二大行事だと言われていたので、とても楽しみにしています。

4つ目はいろいろな研修です。中学3年生のオーストラリア研修や、その他にも今月にある入校時合宿など、クラスメイトといろいろなところに行くことができるので、楽しみながらも学びを深めていきたいです。

このように、金光学園では、小学校生活にはなかったいろいろな行事や美術や数学などの新しい学習もあるので、一つ一つ頑張っていきたいです。

最後になりましたが、先生方、わからないことがいっぱいあるので、いろいろ質問すると思いますが、1年間よろしくお願いします。

# 中1 入校時合宿

## 「金光学園での初めての集団行動」

1組　戸田　遥

私は、中学校生活初めての入校時合宿で、たくさんのことを経験することができました。

一つ目は山登りです。私にとって初めての山登りでした。しかし、思っていた以上に崖やすべりやすいところがたくさんあったので、足を一歩一歩ふみ入れるところが難しかったです。つかれた時には、友達がはげましてくれたおかげで頑張って登りきることができました。

二つ目は集団ゲームの部です。普段することがない他クラスとドッジボールや鬼ごっこでの対決をすることができて、とても楽しかったです。しかし、他クラスは賞状をもらっていたけれど、1組だけ1枚ももらうことができなかったので、少し悔しい思いでした。賞状はもらえなかったけれど、クラス全員で力を合わせることができました。今度はほつま祭などでも力を一つにしていいものができるように頑張っていきたいです。

三つ目は夜の集いの時にあったライトサービスです。ライトサービスとは、各組の代表者が決意表明をし「四つの拍手」を行う会です。私は、この会の女神役をすることになりました。決まった時は私がこのような役をすることができるのかと、頭が真っ白になりました。でも、友達から応援されながら自分なりに頑張って役を務めることができました。今考えると貴重な役をさせていただくことができてとても感謝しています。

私がこの入校時合宿の二日間で学んだことは、集団行動の大切さ、友人関係の大切さ、そして一番大切だと感じたことは時間の大切さです。時には失敗してしまうこともあったけれど、たくさんの経験をすることができました。失敗を恐れず、この経験を活かして中学校生活を全力で楽しみたいです。

## 「チームワーク」

2組　仁科　心優

この入校時合宿での一番の思い出は、夜の集い第一部のゲームなどです。

一つ目のゲームは○×ゲームで、金光学園にまつわるクイズでした。校庭の椅子の数や木の名前、金光学園の全体の人数などの問題もあってとても楽しかったです。入学して少ししか経ってないので、知らないところもたくさんあって難しかったですが、金光学園のことをより知ることができて、とても楽しかったです。

二つ目のゲームはジェスチャーゲームでした。動作や人物、スポーツなどたくさんのお題がありました。私は当てる側で、お題を表現するのが難しそうだなと思っていましたが、ジェスチャーする側の人の表現力が高すぎてみんなが次々お題を当てていて「すごっ」と思いました。当てる側の人も理解力が高すぎてとても驚きました。表現するのが難しいお題ばかりなのに秒で当てていて本当にすごかったです。めちゃくちゃ早くて思わず爆笑してしまいました。当てる側の理解力とジェスチャーする側の表現力とのチームワークで二回戦とも一番に輝きました。みんなで協力して挑むこともできて楽しかったし、面白かったです。

この入校時合宿で友達との絆も深まったし、イベント全部が楽しくて最高の思い出になりました。

## 「入校時合宿で楽しんだこと」

3組　田中幸太郎

僕が入校時合宿で楽しんだことは二つあります。一つ目は遥照山での山登りと飯盒炊爨です。山登りでは前の日、雨が降っていたので地面がゆるくてすべったり、急なところにあるロープが濡れていて持てなかったりしました。足元をあまり見ていなくて、石につまずいたりして大変でした。でも、友達と話をしたり歌を歌いながら行くと気分が楽になりました。藤波池キャンプ場につくと飯盒炊爨をしました。火をつけることが特に大変でした。薪の入れ方や本数がわからなくて火がなかなかつきませんでした。先生からアドバイスをいただき、薪を火に直接あてるようにするとよく燃えました。飯盒を火にあててしばらくして香ばしいにおいがしたので開けてみるとフワッとしたとてもきれいなご飯ができていました。レトルトのハヤシライスをかけて食べました。とてもおいしく大成功でした。そのあと、物を洗う係と、物を片付ける係に分かれました。自分は炭を片付けていたのですが、あまりに数が多かったので、新聞紙にのせて持っていきました。するとまだ火が残っていた炭があったのでしょう、新聞紙が燃え始めたのです。急いで火を踏みつけたので、燃え広がらずに済みました。

しかしそれでもう燃えないと油断していたのか、かまどのところでまた燃え始めました。すぐに火を消しましたが、軍手が焦げてしまい捨てることになりました。けれどおいしいハヤシライスをみんなで楽しく作ることができたので楽しかったです。二つ目は集団ゲームです。自分はあまり活躍できなかったけどクラス全員で頑張って、ドッジボールは一位を取ることができました。鬼ごっこは一位を取ることはできなかったけど必死で走って何とか最後まで生き残ることができました。大変なことも多かったけど、これを通してクラスメイトともっと仲良くなれてクラスメイトの良いところがわかった楽しい入校時合宿になりました。

## 「合宿で学べたこと」

**4組　深見　麻緒**

私は、合宿を通して学べたことが3つあります。

1つ目は、クラスメイトや友達、さまざまな人との出会いについてです。私たちはさまざまな小学校から来ている中でできたクラスです。友達などと夜の集いなどでしゃべったり、クラス全員で力を合わせたり、心をひとつにしたりしてクラスや友達などと、関わることができ、あらためて、クラスメイトや友達などと出会うことができてよかったと思いました。

2つ目は、クラスの人だけでなく他のクラスの人との関わりについてです。いつもだったら違うクラスの人とは関わらないけど、集団ゲームなどの他のクラスとの対抗バトルをしたりして、他のクラスの人との関わりがいつもより多く、知らない人を知ることもできたと思います。

3つ目は、金光学園中学校や金光学園の地域のことについてです。私は家が水島の方なので金光学園中学校のことは知っていることも知らないこともたくさんあったし、金光学園中学校の地域のことは全然知りませんでした。ですが町内クリーン作戦やオリエンテーリングなどのクイズやゴミ拾いをすることで地域のことを知ったり、場所を覚えたりすることができました。まだ知らないこともあるので友達などの関わりを通しながら教えてもらったりして、次は私が誰かに教えれるようになれたらいいと思っています。

# 中2（現中3）学年集会

2022年2月25日（土）に中2（現中3）学年集会が実施されました。代表者による英語での「私の街」紹介、英語暗唱朗読、外国人留学生との交流、全体合唱などが行われました。大勢の保護者の方にも見に来ていただきました。

**佐田　卓海**

僕は、今回の学年集会で、発表代表者として「自分の町紹介」のスピーチをした。初めての英語のスピーチでとても緊張した。2年生だけではなく、外国人の方や保護者がいて余計に緊張した。しかし、一緒に発表する人と練習したおかげで多少のミスはあったけれども、発表を終えることが出来て良かった。しかし、自分の町紹介を明るく、伝えたい部分を強調するなどのようなことが出来なかった。だから、このような発表がもう一度あるのであれば、改善策を意識しながら発表しようと思った。

また、外国人との交流で、最初は緊張していて話しにくかったけれども、相手の方が楽しそうに優しく接してくれたおかげで、だんだんと緊張がほぐれ、楽しい時間を過ごすことが出来た。わからない単語があった時に班の人が教えてくれて嬉しかった。

音楽の発表では、いつもの練習よりもよく歌うことが出来て良かった。特に「やさしさに包まれたなら」のサビの男子と女子が交互に歌う場面がとても良く感じた。歌い終えた後に温かい拍手をもらうことが出来、嬉しかった。

最後にサプライズでリピートトークの優秀な人が呼ばれたけれども、自分との差がとても大きいことを知った。だから、これからはもっとそういうことに意識をしながら頑張っていこうと思った。

全体を通して、良い経験になったと感じた。今日の経験を生かしていきたい。

**浅田　怜美**

私は今回の中2学年集会ができて良かったと思いました。オープニングの「ハトと少年」は聞いていて、「これから始まる」

という感じがしてとても良かったです。
第1部の代表の人たちによる「私の町紹介」では、代表者の人たちの町の魅力が、とてもよく伝わってきたし、みんなとても流暢に英語が話せていてすごいと思いました。そして、写真もあってとてもわかりやすかったです。また、英語の教科書に出てくる“A glass of Milk”の朗読も自然と教科書の絵が浮かんでくるほど、みんな上手でした。
そして、第2部の外国人留学生とのトークタイムでは、私は多分、終始ちゃんとした英語は話せていなかったと思うのですが、留学生の人たちはちゃんと聞き取って返してくれたので、雰囲気と単語だけで会話は成り立つものなのかなと思いました。しかし、またこのような機会があれば、緊張していても、できるだけちゃんとしたきれいな英語が話せるようになりたいなと思います。
クロージングで歌った、全体合唱の「Amazing Grace」と「やさしさに包まれたなら」は、みんなで歌うことができて楽しかったです。私はコーラス部に入っているのですが、部活のときとは違った感じで、みんなで歌うのもいいなと感じました。
この一年間学校で頑張ってきた、英語の学習の成果を保護者の方々に見てもらうことができて本当に良かったです。これからも英語を頑張ろうと、今回改めて思いました。

**天野　花菜**

学年集会で、二回目の外国人留学生との交流ができて、いい機会になったと感じました。
外国人と話せる機会は珍しくて、とても重要だと改めて感じられました。そういう珍しい機会だからこそ、これからも大切にしていきたいと思いました。また、その外国人留学生との交流の中で私は、しっかりとした文ではなくても、積極的に話すことの大切さを感じました。正確な英語で話さなくても伝わることがわかって、安心しました。

また、外国人の方でも、日本人の友達と同じようにコミュニケーションをとるということも大切だと感じました。しっかり目を見て、自分から英語で話しかけた分、留学生の方もしっかり聞いてくれたり、質問をかけてくれたりしたので、積極的にコミュニケーションをとっていきたいと思いました。
また、自分が地元のいいところをプレゼンしたり、他のクラスメイトのプレゼンをきいたりする中で、改めて留学生や外国人の方に日本のいいところを、もっと知ってもらいたいと思いました。また、他国のいいところももっと知っていきたいと思いました。今回のプレゼンを留学生の方にきいてもらえたことで、今までよりももっと日本が好きになってもらえたらいいなと思いました。また、日本という大きなくくりだけではなく、岡山の中のいいところももっと知ってもらって、もっと好きになってもらえればいいなと思いました。



**大谷　和平**

学年集会は吹奏楽のファンファーレから始まりました。ファンファーレが終わると、英語の発表に入りました。僕はこの発表の中の、「私の町紹介」で発表をしました。発表をする前、僕は、中学校に入ってこのような大勢の前で舞台に立って発表するというのは初めてだったので、とても緊張していました。正直、元々みんなの前に立って発表をしたりするのは嫌いだし、本当に発表したくありませんでした。自分の番になって発表する時などは足が震えそうでした。ですが、発表前はマイナスな気持ちばかりでしたが、発表が終わった瞬間に、マイナスがプラスの気持ちに変わり、とてもすがすがしい気持ちになりました。自分にたくさんの拍手が送られてきて、少し、「発表もいいものだな」と思えました。この発表のおかげで、発表やプレゼンなどへの苦手意識が少し減ったような気がします。
発表が終わったら、次は外国人留学生との交流会が始まりました。ここでは、KAAのときの「夜の集い」のときのような形で交流会が開かれました。アフリカ人や中国人などのいろいろな国の留学生たちと会話することができました。会話する時、自分では、「うまく言えた」と思っていても伝わってなかったりすることもありました。だから、これからはもっともっと英語をうまく発音できるようにしていきたいです。

**内村紗英子**

私は今回の学年集会で司会をして、良い経験ができたなと思いました。
自信がついた理由は2つあります。
1つ目は、KAAのときよりも楽しくみんなで留学生の方々と話せたからです。KAAのときは少しぎこちなさや言葉が詰まったり、時々意味が通じなかったり、自分たちもわからなかったりしていました。だけど、今回はそのようなことがなく、みんなで仲良く楽しく話すことができました。
2つ目は、司会でみんなに指示をしたとき、留学生の方々にも伝わっていたからです。正直英語の発音には自信がなく、伝わらなかったらどうしようか、と言う前や言っている最中にも思っていました。しかし、みんな指示通りに動いてくれて、留学生の方々にも意味が通じてよかったです。
留学生の方々とのトークタイムも楽しかったですが、最初の演奏、街の紹介、朗読や全体合唱、色々な項目があり、とても楽しい時間を過ごすことができました。打ち合わせなどの回数が少なかったので、ちゃんとうまくいくかなとか失敗したらどうしようと思っていたけど、大成功して安心したし、とても嬉しいです。
私はこの学年集会で司会をしてみて、良い経験ができ、前よりも成長することができたなと思いました。あまり自分から率先してイベントなどの司会になったり、実行委員になったりしていないし、今回も友だちに誘われたからやってみたので、次は友達にやろうと言われなくても自分から率先して司会や実行委員に立候補していけるようになりたいです。

# 高1　一日旅行

4月21日（金）、高校一年生はクラスの親睦を目的とした一日旅行に出かけました。

「神勝寺」での座禅体験の後、「ツネイシしまなみビレッジ」の体育館で実行員が考えたレクリエーションを行い、最後はクイズを解きながらのウォークラリーを行いました。

## 「ビフォーアフター」

1組　桑田　健太

「なんでだよ」僕たちの一日旅行への思いは、最初はそんな感じだった。行き先はみんな期待していた。なぜなら去年の先輩たちはレオマワールドなどテーマパークで学び遊んでいたことを知っていたからだ。だが、予想は競馬のギャンブラーのごとく見事外れ、お寺ということになっていた。もちろんみんな「えー！」と声をもらす。だがそんな声も帰る頃には「楽しかった」や「行ってよかった」など、まるで『ビフォーアフター』のように変わっていた。では、何がそれほどまで僕たちを変えたんだろうか。それは、僕が一日旅行で学んだことと深く関係する。

一つは、集団での行動にあると思う。最初は、ざわざわとしゃべっていた。先生に言われるまでずっと。だが、座禅という自分を見つめ直す時間を得ることで、まるで飛び方を知った鳥のように、全てに満たされて落ち着いていた。すると、なんということだろうか。人が前に立てば、静かにして早めに移動して座っていたのだ。

もう一つは、やり切ることだ。最初に書いた通り、みんなお寺というのは嫌だったろう。それはまるで夏休みの大量の宿題の如く、やる気は起きなかっただろう。

しかし、文句を多少吐いたにしてもやりきった。WBCのようにあきらめずやりきった。こういった事はこれからの高校生活でとても役に立つだろう。さらに続く高校生活への期待に胸を膨らませ、一日旅行は幕を閉じた。

## 「不安から期待へ！」

2組　小西　史剛

私は、金光学園の同級生に、同じ中学校から来ている友達がいない。そのため、私は入学する前から「友達できなかったらどうしよう」「一人で孤立してしまったらどうしよう」と悩んでいる時期があった。しかし、クラスの皆は、私に気軽に話しかけてくれて、少し仲良くなることができた。そんな時にあったのが、この一日旅行だった。

まず、学年全員で座禅をした。座り方、呼吸の仕方、叩いてもらうときの叩かれ方、いろいろなことを教えてもらった。座禅をしたのは十五分を二セットだったけれど、その二セットはとても集中力が上がったと私は思った。昼食は、他クラスだった人とも一緒に食べた。入学した時に声をかけてもらったみたいに、今度は私が自分から「一緒に固まって食べよーや！」と言い、昼食の時間でも交友関係を深めることができた。

そして、次にしたのが、クラス対抗オリエンテーションだ。種目は五色綱引き、しっぽ取り、借り物競走の三つだった。一つ目の綱引きは、二回戦して、二回戦とも負けてしまったが、クラスでどうするか作戦を立てて話し合い、絆が深まったと思う。二つ目のしっぽ取りは、二回戦とも勝てた。この種目で勝てたのは、グループに別れてグループで行動し、しっぽを取られなかったからだと私は考える。だから、クラスだけでなく、クラス中の個と個の絆も深めることができたと思う。三つ目の借り物競走は、特に学年全体がとても盛り上がっていたと思う。

その後、班の皆とウォークラリーをした。班の皆とも、普通に話すことができるようになってきて、一日旅行はやっぱりあってよかったと思った。だから、一日旅行を計画して、スムーズに進行するように働いてくださった先生方、実行委員の皆には、本当に感謝したいと思っている。帰りのバスでは、疲れ過ぎて、ほとんどの人が寝ていた。

私は高校に入るとき、友達ができるか不安だったけれど、一日旅行のように、行事ごとに友達が増えていけばいいな、と今は期待が大きくなっている。これからも多くの友達を作り、今の友達も大切にしていきたいと思った。

## 「クラスとして」

3組　江口　暖人

私達は、一日旅行を終えて一段と男女問わず仲良くなり団結力が増したように思う。

私のクラスは高入生の人が多く、まだ話したことがない人達ばかりで、私も同じ部活の人や学園生としか話していなかったと思う。さらに、まだ出会って二週間ほどしか経っていなかったため、ものすごい壁があるように感じていた。

一日旅行に行くことが伝えられた際、はっきり言って「そんなに楽しくないんだろうなぁ」と思ってしまった。まだ話した事もないような人と行っても気まずいだけだな、とも思ってしまった。

でも班決めの時、男子は仲の良い人だけでなく、話したことのない人も交えて話し合っていたように思う。誰も仲間外れにしないのがこのクラスの一番の長所だと思う。

そして、一日旅行当日、バスの中はにぎやかで男女問わず会話していたり、手作りの遊びで遊んだりで仲を深めていったように思う。

神勝寺に着いてお寺に向かっている時も、クラスで列になっていてすごいなと思った。

座禅を初めてしてみてすごく良かったと思う。完全に静かな場所で心を正しく集中できたのはすごく良い経験になったと思う。

そして最後にしたレクリエーションとウォークラリーは、クラス一致団結して他のクラスと競い合いながら楽しく出来たように思う。五色綱引きでは一位を勝ち取ってクラスがまた一つ成長できたように思えた。

最後に、一日旅行を終えてみて、クラスの長所がたくさん見えたそんな一日になったと思う。まだこれから体育会やほつま祭、球技大会もあり、まだ高校生活が始まって一歩踏み出したばかりなので、三組というクラスと共に成長していきたいなと思った。

## 「掴み取った優勝！」

**4組　原　瑞希**

私にとって、一日旅行は良い経験になると共に、4組全員と親睦を深めるための素晴らしい機会となった。

正直、「座禅をする」と聞いた時、「座禅をしても何も変わらないだろう」と思っていた。しかし、実際に体験みると、普段意識しないと聞こえないような鳥の鳴き声や、葉が揺れる音、人の足音などが、自然と耳に入ってきた。座禅体験を終え、体育館に向かう途中、私は感慨深い気持ちでいっぱいになっていた。

その後、レクリエーションでは4組のみんなと一致団結し、優勝を掴み取ることができた。その中でも一番団結できたのは、やはり綱引きだろう。クラスメイト全員と作戦を練り、一回戦目は負けてしまったが、二回戦目は勝つことができた。もちろん、他の競技でも協力し合うことができた。

また、今回の一日旅行で一番良かったことは、クラスの男女の壁を少しずつ無くせたことだ。高校生になってまだ二週間ほどしか経っていないので、一度も話したことがない人がたくさんいる中での一日旅行だった。なので、私はみんなと仲良くなれるか少し不安だった。しかし、話しかけてみると、全員話しやすく、行きのバスも帰りのバスも雑談をしながら、とても楽しい時間を過ごすことができた。

今回学んだ事や、得たものを、ほつま祭や体育会などにも活かしていきたいと思う。今年一年間、4組のクラスメイトと過ごせると思うと胸が高鳴る。もちろん、行事だけでなく、勉学にも励んでいきたい。

## 「初めての座禅体験」

**5組　濱田　健介**

私達は高校に入学して初めての行事である一日旅行に行ってきました。

まず初めに、神勝寺というお寺へ行きました。そして、そこで座禅を体験しました。私にとって座禅は初めての体験で、少し不安でした。しかし、お坊さんたちが優しく教えてくださって、私でも座禅をすることができました。

お坊さんの話を聴いていると、座禅をする上で大事なことは大きく三つあると分かりました。

一つ目は姿勢です。私たちは日常生活の中で猫背になりがちです。そのため、お坊さんから猫背になっていると注意を受けました。自分でも無意識に猫背になっていて、背筋を伸ばしたままでいるのがとても難しかったです。

二つ目は目線です。目は半目にし、目線はあまり上げずにします。目線をあまり上げないことで目から入ってくる情報を減らし、座禅に集中することができるそうです。

三つ目は呼吸です。長く息を吐き、短く息を吸うというもので、簡単そうに聞こえますが、とても難しいです。

呼吸を意識しすぎると姿勢が悪くなってしまい、この三つのことを同時に意識することがとても難しかったと感じました。

他にも、レクリエーションや、ウォークラリーなどを通して、目標であった親睦を深めることもできたと思います。この一日旅行で学んだことをこれからの高校生活に生かしていきたいです。

# やつなみ保護者会のページ

## 指導部

部長　坂田　壮士

令和5年度の指導部は、8名で活動します。

主な活動は、

・研修会の参加
・地区会の運営
・広域特別補導
・列車補導
・街頭補導
・生徒に関わる問題の点の協議・検討等

以上を予定しています。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、生徒の活動範囲に制限があったことから、予定していた活動範囲を縮小して実施しましたが、令和5年5月8日に季節性インフルエンザと同等の5類感染症に引き下げられたことを受け、生徒の活動をはじめ社会全体の活動範囲が活発化されつつあります。このような社会状況下において、生徒が予期せぬトラブルに巻き込まれること、一部ではトラブルの原因を作り出すことが懸念されます。

指導部では、このようなトラブルを回避できるよう先生方と協力しながら広域特別補導、列車補導、街頭補導等の活動に取り組みます。

また、やつなみ保護者会の皆様が、新学年を迎えて心配なことや改善したいこと、また地区独自の問題などについて学年を超えて話し合うことで、よりよい学園教育を目指して各地区の評議員様が主体となって地区会を開催しており、指導部では地区会の運営を支援してまいります。

こども達の健やかな成長と安心してすごせる学園生活に向けて、保護者の皆様をはじめ先生方と連携しながら活動してまいりますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

## 教養部

部長　岡本こずえ

今年度の教養部は、8名で活動しております。主な活動内容は、

・年に3回のやつなみの発行
・研修旅行の企画、参加
・やつなみサークルの参加
・研修会の参加などがあります。

「やつなみ」の創刊号第1号は1952年に発行し、今年で71年にもなる学園生活を知る事ができる伝統ある機関誌です。保護者のページなどで、原稿依頼をお願いする時は引き受けてくださると助かりますのでよろしくお願い致します。

昨年度まで、コロナ禍で活動内容が中止、縮小、延期などで、活動に制限がありましたが、本年度は、一部制限等はありますが、予定通りの開催になりますのでそれに伴い活動参加をしていきたいと思います。

学年も違いなかなか接点もなく初めての教養部という方も居られますが、皆で協力して楽しく活動していきたいと思います。宜しくお願いいたします。

## 庶務部

部長　横尾　慶子

今年度庶務部は25名で活動しております。主な活動は、ほつま祭での友愛セールの準備と開催、及び手作り会の開催です。

ほつま祭では、手作り会で作成した金光ベアなどの手作り品を販売させて頂いております。

本年度は5月の連休明けよりコロナが5類感染症へと移行されたことから、ここ数年の制限のある状況よりはかなり活動もしやすくなっていくのでは、と期待しております。

庶務部の活動の中でもメインとなる手作り会ですが、庶務部員だけではなく、有志の役員方、現役生の保護者、OBの保護者の方々までご協力頂いて活動しております。各ご家庭からご提供頂いた制服をリメイクしたミニチュア制服を着たくまのぬいぐるみや、シャツをリメイクしたテディベアなどの手作り品を製作しております。その他にも、小物などを製作してバザー用に準備できればと思っております。

本年度のほつま祭は、9月9、10日に開催予定です。よろしかったら、皆さんご購入ください。

ほつま祭までに月に1、2回程度手作り会を開催致します。ほつま祭開催以降も、来年度に向けての手作り会を開催していく予定です。

学年を越えて、保護者同士の親睦を深めて頂く場にもなっておりますので、手作りにご興味をお持ちの方もそうでない方も、お気軽にご参加頂ければと思っております。

# 金光学園やつなみ保護者会　会長就任挨拶

保護者の皆様、学園関係者の皆様には平素よりやつなみ保護者会活動に、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。またこの度、学園にご入学された保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。

4月29日に開催されました、保護者会総会の決議にてご承認いただきました、令和5年度、金光学園やつなみ保護者会会長を務めます、岡田祥平と申します。どうぞ、よろしくお願い致します。

私は、金光学園の「人をたいせつに　自分をたいせつに物をたいせつに」という言葉が大好きです。学生にとって、勉学や運動は学園生活を送る大きな目的の一つだと思いますが、それ以上に人間としての「思いやり」や「やさしさ」などを身に付けていただくことで、周囲に影響を与えることができる大きな人間への成長を期待しております。

昨年は副会長という立場で1年間役員を務めさせていただき、わずかにコロナの影響はあったものの、ほつま祭をはじめ体育会や各種活動を再開することができました。本年度は、5月の2類から5類への変更に伴い、ますます日常の学園生活に戻っていくことが予想されます。

金光学園やつなみ保護者会
会長　岡田　祥平

しかしながら、この3年間の自粛期間というのは、誰にとっても大きな傷跡を残しており、我々役員も過去の活動経験のないメンバーばかりのため、手探りで実施していくことになります。そのような環境の中でも、子どもたちにより安全で楽しい環境をつくってあげたいという思いは、私たち親の共通の願いではないでしょうか。そのような環境を作っていくためには、まずは我々自身が楽しみ、新たなチャンレジを恐れることなく、未来志向で活動をしていくことが大切だと考えております。

最後に、歴史ある金光学園やつなみ保護者会、歴代会長が築かれた伝統とこれまでの活躍を考えますとその責務の重さに身の引き締まる思いでございますが、会長としまして、役員、先生方と協力して、保護者の皆様が気持ちよく、充実感に満ちた活動になるよう心掛けてまいりますので、ご支援とご協力の程よろしくお願いいたします。



# ほつま祭
# 「友愛セール」ご協力のお願い!

拝啓

晩夏の候、極暑というにはふさわしい毎日が続いております。本誌が届く頃には期末試験も終わり、そして子供たちには楽しみな夏休みへと続きます。保護者の皆様におかれましては、平素よりやつなみ保護者会へのご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、今年のほつま祭は９月９日(土)、１０日(日)当保護者会主催の友愛セールを、開催いたします。

本年も「金光ベア」をはじめ、多くの保護者の皆様の心がこもった手作り作品が多数出品されます。また予約販売では、金光学園にゆかりのある会社様を中心に新たな選りすぐりの商品を集め、お値打ちの価格で提供させていただきたいと考えております。昨年に引き続き、オンライン注文を考えており、ほつま祭１か月前を目安にメールやチラシにてご案内させていただきますので、多くのご購入をいただければ幸いです。

この「友愛セール」で得られました収益金は、学内設備の充実に充てられます。

是非とも友愛セールの趣旨と意義をご理解いただき、保護者の皆様のご協力をお願い申し上げます。

敬具

# 会報

令和5年度は、ほぼ通常の保護者会活動を行っていくことになった。

**第6回（最終）評議員会**　3月25日（土）令和4年度最終の評議員会が開催された。協議報告事項として、①令和4年度会務報告、②令和4年度会計収支決算報告、③令和5年度三役選考経過報告が行われ、全て拍手で承認された。

**金光教大祭接待奉仕**　4月2・6・9日の3日間に行われた金光教春の天地金乃神大祭に評議員さんが奉仕した。全国からの代表の参拝の方々の接待奉仕で、大変感謝された。

**総会**　4月29日（土）に令和5年度総会が開催された。1限に授業参観、2限に学級会、10時45分からほつま体育館で総会を4年ぶりの対面形式で行った。総会では、①各部からの会務報告、②令和4年度会計報告及び監査報告、③役員改選が議事に挙げられ、③についてはこの総会で決定された。この結果、令和5年度の新三役が次の通り選任された。（敬称略）

新三役

| | |
|---|---|
| 会長 | 岡田祥平 |
| 副会長 | 植田和明　恵谷理枝<br>佐藤史成　田頭　勉<br>中川　啓　中桐大作<br>橋本理美 |
| 監事 | 小寺佳枝　長谷川絢の |

各部　部長・副部長

| | 部長 | 副部長 |
|---|---|---|
| 指導部 | 坂田　壮士 | 蒲生　信博 |
| 教養部 | 岡本こずえ | 中野　和美 |
| 庶務部 | 横尾　慶子 | 髙橋　洋未 |

**第1回全役員会・評議員会**　5月10日（水）全役員会では、全役員と評議員の任務内容の確認、年間予定等について説明があった。続く評議員会では、各専門部役員の決定後、各部長・副部長が選任された。（敬称略）その後、5年度の活動方針、予算案、地区会等について検討し承認された。今年のほつま祭での友愛セールの具体的な取り組みや地区会開催の確認、金光教接待奉仕の分担決定などの協議も行った。

**第2回評議員会**　6月5日（月）各専門部役員名簿の確認後、年間活動内容について各部別協議を行い、全体で共有した。その後、今年度の友愛セールは、遊休品のバザーは行わず予約販売（物品・手作り品）を実施することになった。

**諸会合**

○5月23日浅口市青少年育成活動協議会金光支部理事会。西評議員出席。

○5月29日岡山県私立中学高等学校保護者会連合会総会・歓送迎会。岡田会長・初村前会長出席。

○5月30日岡山県青少年育成県民会議総会。橋本副会長出席。

○6月6日県小中中等学校ＰＴＡ指導者研修会。オンライン。岡田会長参加。

○6月21日玉島警察署管内子どもを守る母の会総会。香西評議員出席。

○6月22日岡山県高等学校ＰＴＡ連合会総会・研修会。佐藤副会長出席。

○7月14日中四国高等学校ＰＴＡ連合会岡山大会。恵谷副会長・佐藤副会長・中川副会長・中桐副会長・橋本副会長・小寺監事・長谷川監事出席。

○7月15日社会を明るくする運動浅口推進大会。佐藤副会長・坂田評議員・西評議員・中村評議員出席。



## 令和5年度　やつなみ保護者会　地区会

| No. | 地　区 | 日　時 | 会　場 | 出席教員 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 岡山以東 | 7月1日（土）14:00～16:00 | 岡山県生涯学習センター | 成田　小畑　内村<br>ショーン |
| 2 | 倉敷第１ | 7月8日（土）18:30～20:30 | ライフパーク倉敷 | 天野浩　内田　高田 |
| 3 | 倉敷第２ | 7月9日（日）18:30～20:30 | くらしき健康福祉プラザ | 佐藤径　堤　吉永 |
| 4 | 倉敷第３ | 7月8日（土）15:00～17:00 | 倉敷スポーツ公園　第一会議室 | 守分　久野　藤原 |
| 5 | 玉島東 | 7月2日（日）10:00～12:00 | 玉島市民交流センター | 宰相裕　石田亜　土井 |
| 6 | 玉島西 黒崎 | 7月2日（日）10:00～12:00 | 玉島市民交流センター | 坂口　山本澄　小松原 |
| 7 | 富田 長尾 船穂<br>真備 | 7月7日（金）15:30～16:30 | 金光学園　記念講堂 | 小橋　松島　佐藤洋 |
| 8 | 竹　八重　占見<br>占見新田　地頭下 | 7月8日（土）14:00～16:00 | 金光学園高校視聴覚教室 | 奥野　中島　有馬 |
| 9 | 大谷　須恵　佐方 | 7月12日（水）18:30～19:30 | 金光学園中ホール | 水岡　石井 |
| 10 | 鴨　方 | 7月22日（土）19:00～21:00 | 浅口市中央公民館 | 谷野　友田 |
| 11 | 六条院 | 7月13日（木）19:00～20:00 | 浅口市健康福祉センター | 籠崎　北川 |
| 12 | 寄　島 | 7月8日（土）19:00～21:00 | ふれあい交流館サンパレア | 藤井　吉森 |
| 13 | 里　庄 | 7月8日（土）13:30～15:00 | 里庄町立図書館　視聴覚室 | 大西　山本幸 |
| 14 | 笠岡東 | 7月1日（土）19:00～20:30 | サンライフ笠岡 | 松田　宰相夕　西山 |
| 15 | 笠岡西 | 7月15日（土）18:00～19:30 | サンライフ笠岡 | 山路　平岡 |
| 16 | 笠岡北 | 7月8日（土）19:00～20:30 | 北川公民館 | 松本　亀山　森下 |
| 17 | 井　原 | 7月22日（土）19:00～21:00 | アクティブライフ井原 | 田中　長江　角南<br>ベン |
| 18 | 福山第一・三 | 7月8日（土）18:30～20:30 | 福山市生涯学習プラザ | 土谷　石田崇　平川 |
| 19 | 福山第二 | 7月8日（土）19:00～21:00 | 福山市市民参画センター | 山下　長谷川　園田 |
| 20 | 福山第四A | 7月１日（土）18:00～20:00 | 緑丘公民館 | 井上　鳥越　岡田 |
| 21 | 福山第四B | 7月19日（水）19:00～20:30 | 伊勢丘交流館 | 東山　水野　中村 |
| 22 | 福山第五 | 7月14日（金）19:30～22:00 | 福山市北部市民センター | 戸田　細川 |
| 23 | 松永・尾道・<br>三原以西 | 7月１日（土）15:00～17:00 | 福山市西部市民センター | 塚田　久繁 |
| 24 | 止　宿 | 手紙でのアンケート実施 | | 日笠　平賀 |

# 学校法人金光学園　令和４年度決算の概要

令和4年度の決算が、5月30日に開かれた法人評議員会ならびに理事会で承認されました。
学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を示す『資金収支計算書』、経営状態を示す『事業活動収支計算書』、財産状態を示す『貸借対照表』により表示し、私立学校法第47条及び学校法人会計基準第4号に定められた規則に基づき作成したものが、以下の「財務三表」です。

## 資金収支計算書

令和4年 4月 1日から令和5年 3月31日まで

収入の部　　支出の部　　（単位：円）

| 科　目 | 決算額 | 科　目 | 決算額 |
|---|---|---|---|
| 学生生徒等納付金収入 | 547,687,110 | 人件費支出 | 856,467,383 |
| 手数料収入 | 6,178,500 | 教育研究経費支出 | 123,485,176 |
| 寄付金収入 | 28,342,183 | 管理経費支出 | 62,911,855 |
| 補助金収入 | 472,904,574 | 借入金等利息支出 | 1,823,126 |
| 資産売却収入 | 365,820 | 借入金等返済支出 | 46,400,000 |
| 付随事業・収益事業収入 | 712,805 | 施設関係支出 | 3,390,300 |
| 受取利息・配当金収入 | 711,362 | 設備関係支出 | 17,852,235 |
| 雑収入 | 54,772,275 | 資産運用支出 | 55,982,499 |
| 前受金収入 | 55,100,000 | その他の支出 | 48,104,823 |
| その他の収入 | 129,553,123 | 資金支出調整勘定 | △ 8,111,158 |
| 資金収入調整勘定 | △ 77,549,674 | 翌年度繰越支払資金 | 61,587,944 |
| 前年度繰越支払資金 | 51,116,105 | | |
| **収入の部合計** | 1,269,894,183 | **支出の部合計** | 1,269,894,183 |

## 事業活動収支計算書

（単位：円）

| | | 科　目 | 決算額 | | 科　目 | 決算額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育活動収支 | 事業活動収入の部 | 学生生徒等納付金 | 547,687,110 | 事業活動支出の部 | 人件費 | 856,351,081 |
| | | 手数料 | 6,178,500 | | 教育研究経費 | 212,073,119 |
| | | 寄付金 | 28,342,183 | | 管理経費 | 66,105,690 |
| | | 経常費等補助金 | 472,550,574 | | | |
| | | 付随事業収入 | 712,805 | | | |
| | | 雑収入 | 54,772,275 | | | |
| | | 教育活動収入計 | 1,110,243,447 | | 教育活動支出計 | 1,134,529,890 |
| | **教育活動収支差額** | | | | | △ 24,286,443 |
| 教育活動外収支 | 事業活動収入の部 | 受取利息・配当金 | 711,362 | 事業活動支出の部 | 借入金等利息 | 1,823,126 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | 教育活動外収入計 | 711,362 | | 教育活動外支出計 | 1,823,126 |
| | | 教育活動外収支差額 | | | | △ 1,111,764 |
| | **経常収支差額** | | | | | △ 25,398,207 |
| 特別収支 | 事業活動収入の部 | 資産売却差額 | 365,818 | 事業活動支出の部 | 資産処分差額 | 7,638,886 |
| | | その他の特別収入 | 496,732 | | | |
| | | | | | | |
| | | 特別収入計 | 862,550 | | 特別支出計 | 7,638,886 |
| | **特別収支差額** | | | | | △ 6,776,336 |
| 〔予　備　費〕 | | | | | | |
| 基本金組入前当年度収支差額 | | | | | | △ 32,174,543 |
| 基本金組入額合計 | | | | | | △ 47,918,550 |
| **当年度収支差額** | | | | | | △ 80,093,093 |
| 前年度繰越収支差額 | | | | | | △ 1,949,980,577 |
| **翌年度繰越収支差額** | | | | | | △ 2,030,073,670 |
| （参考） | | | | | | |
| **事業活動収入計** | | | | | | 1,111,817,359 |
| **事業活動支出計** | | | | | | 1,143,991,902 |



## 貸借対照表

令和5年 3月31日

資産の部　　負債の部　　（単位：円）

| 科　目 | 本年度末 | 科　目 | 本年度末 |
|---|---|---|---|
| 固定資産 | 2,282,264,872 | 固定負債 | 452,010,901 |
| 有形 固定資産 | 2,081,981,769 | 流動負債 | 137,603,303 |
| 特定資産 | 200,000,000 | **負債の部合計** | 589,614,204 |
| その他の固定資産 | 283,103 | **純資産の部** | |
| 流動資産 | 101,572,237 | 科　目 | 本年度末 |
| **資産の部合計** | 2,383,837,109 | 基本金 | 3,824,296,575 |
| | | 繰越収支差額 | △ 2,030,073,670 |
| | | **純資産の部合計** | 1,794,222,905 |
| | | **負債及び純資産の部合計** | 2,383,837,109 |

## 金光学園やつなみ保護者会　令和４年度　収支決算

### Ⅰ．一般会計

収入の部　　（単位：円）

| 科　目 | 予算額 | 決算額 | 差　異 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 1　会　費 | 4,008,000 | 3,966,520 | 41,480 | 月額　P@320、T@400 |
| 2　繰越金 | 3,153,261 | 3,153,261 | 0 | |
| 3　寄付金 | 20,000 | 20,000 | 0 | 大祭直会 |
| 4　雑収入 | 30,000 | 21,827 | 8,173 | 預金利息、笠岡補導センター補助、他 |
| 合　計 | 7,211,261 | 7,161,608 | 49,653 | |

支出の部

| 科　目 | 予算額 | 決算額 | 差　異 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 1　指導部費 | 505,000 | 440,115 | 64,885 | |
| A　地区会費 | 300,000 | 237,115 | 62,885 | 23地区 |
| B　生活指導費 | 5,000 | 3,000 | 2,000 | 広域補導 |
| C　通信連絡費 | 200,000 | 200,000 | 0 | 家庭連絡電話料 |
| 2　教養部費 | 3,045,000 | 2,607,000 | 438,000 | |
| A　機関誌費 | 2,700,000 | 2,562,000 | 138,000 | やつなみ262号～ 264号 |
| B　教養費 | 345,000 | 45,000 | 300,000 | |
| (1)　研修費 | 300,000 | 0 | 300,000 | 総会講演、研修旅行、他 |
| (2)　教養費 | 0 | 0 | 0 | 教養シリーズ |
| (3)　講習会費 | 45,000 | 45,000 | 0 | やつなみサークル補助 |
| 3　庶務部費 | 1,680,000 | 1,315,018 | 364,982 | |
| A　負担金 | 400,000 | 296,020 | 103,980 | 私中高父母の会負担金、他 |
| B　名簿刊行費 | 0 | 0 | 0 | 学園名簿(R1年度から発刊しない) |
| C　慶弔費 | 500,000 | 412,000 | 88,000 | 卒業式、弔慰、餞別 |
| D　会議費 | 100,000 | 68,330 | 31,670 | 総会、評議員会、役員会 |
| E　旅費 | 100,000 | 51,880 | 48,120 | 私中高P連総会、大祭湯茶接待、他 |
| F　事務費 | 200,000 | 61,030 | 138,970 | 諸消耗品代等 |
| G　特別委員会費 | 350,000 | 349,768 | 232 | 全国・中国地区私中高父母の会等 |
| H　雑費 | 30,000 | 75,990 | △ 45,990 | 標語パネル協賛金、振込手数料、エプロンクリーニング代、他 |
| 4　予備費 | 1,981,261 | 0 | 1,981,261 | |
| 合　計 | 7,211,261 | 4,362,133 | 2,849,128 | |

**1．一般会計収支**

| | |
|---|---|
| 収入総額 | 7,161,608 |
| 支出総額 | 4,362,133 |
| 差引剰余金 | 2,799,475 |

◎剰余金処分　　2,799,475円は、次年度一般会計に繰り越す。

## Ⅱ．特別会計

**収入の部**　　（単位：円）

| 科　目 | 予算額 | 決算額 | 差　異 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 1　特別会費 | 7,874,400 | 7,385,480 | 488,920 | 月額　@680 |
| 2　繰越金 | 5,812,160 | 5,812,160 | 0 | |
| 3　雑収入 | 10,000 | 0 | 10,000 | 生徒用コピー機利用料戻入 |
| 合　計 | 13,696,560 | 13,197,640 | 498,920 | |

**支出の部**

| 科　目 | 予算額 | 決算額 | 差　異 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 1　教育後援費 | 13,696,560 | 7,427,732 | 6,268,828 | スポーツ振興センター共済掛金、生徒用コピー機、生徒会派遣費補助、他 |

**《教育後援費の内訳》**

| | |
|---|---|
| ①日本スポーツ振興センター共済掛金 | 1,076,100円 |
| ②高P連賠償責任補償制度加入掛金 | 366,000円 |
| ③私学ボランティア基金会費 | 10,240円 |
| ④私学ボランティア基金特別会費 | 10,000円 |
| ⑤高校図書室コインコピー機リース料 | 105,300円 |
| ⑥メールメイトシステム利用料(R5年度分) | 99,000円 |
| ⑦生徒会派遣費補助 | 4,596,092円 |
| ⑧7/23とんび上映会特設スクリーン設置料 | 165,000円 |
| ⑨特別会計から事業積立会計へ | 1,000,000円 |
| | 7,427,732円 |

**２．特別会計収支**

| | |
|---|---|
| 収入総額 | 13,197,640円 |
| 支出総額 | 7,427,732円 |
| 差引剰余金 | 5,769,908円 |

◎剰余金処分　　特別会計余剰金5,769,908円は、次年度特別会計に繰り越す。

## Ⅲ．事業積立会計

**収入の部**　　（単位：円）

| 科　目 | 予算額 | 決算額 | 差　異 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 1　積立金 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | 教育後援費より |
| 2　繰越金 | 5,000,000 | 5,000,000 | 0 | |
| 合　計 | 6,000,000 | 6,000,000 | 0 | |

**支出の部**

| 科　目 | 予算額 | 決算額 | 差　異 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 1　事業費 | 0 | 0 | 0 | |

**３．事業積立会計収支**

| | |
|---|---|
| 収入総額 | 6,000,000円 |
| 支出総額 | 0円 |
| 差引剰余金 | 6,000,000円 |

◎剰余金処分　　事業積立会計剰余金6,000,000円は、次年度事業積立会計に繰り越す。

# 令和５年度　予算

金光学園やつなみ保護者会

## Ⅰ．一般会計

**収入の部**　　（単位：円）

| 科　目 | R5予算額 | R4予算額 | R4決算額 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 1　会　費 | 3,683,520 | 4,008,000 | 3,966,520 | 月額　P@320、　T@400 |
| 2　繰越金 | 2,799,475 | 3,153,261 | 3,153,261 | |
| 3　寄付金 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 大祭直会 |
| 4　雑収入 | 30,000 | 30,000 | 21,827 | 預金利息、やつなみ増刷補助、笠岡補導センター補助、他 |
| 合　計 | 6,532,995 | 7,211,261 | 7,161,608 | |



**支出の部**

| 科　目 | R5予算額 | R4予算額 | R4決算額 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 1　指導部費 | 505,000 | 505,000 | 440,115 | |
| A　地区会費 | 300,000 | 300,000 | 237,115 | 23地区 |
| B　生活指導費 | 5,000 | 5,000 | 3,000 | 広域補導 |
| C　通信連絡費 | 200,000 | 200,000 | 200,000 | 家庭連絡電話料 |
| 2　教養部費 | 3,435,000 | 3,045,000 | 2,607,000 | |
| A　機関誌費 | 2,700,000 | 2,700,000 | 2,562,000 | やつなみ265号～ 267号 |
| B　教養費 | 735,000 | 345,000 | 45,000 | |
| (1)　研修費 | 400,000 | 300,000 | 0 | 総会講演、研修旅行、他 |
| (2)　教養費 | 300,000 | 0 | 0 | 教養シリーズ |
| (3)　講習会費 | 35,000 | 45,000 | 45,000 | やつなみサークル補助 |
| 3　庶務部費 | 1,800,000 | 1,680,000 | 1,315,018 | |
| A　負担金 | 400,000 | 400,000 | 296,020 | 私中高父母の会負担金、他 |
| B　名簿刊行費 | 0 | 0 | 0 | 学園名簿(R1年度から発刊しない) |
| C　慶弔費 | 500,000 | 500,000 | 412,000 | 卒業式、弔慰 、餞別 |
| D　会議費 | 100,000 | 100,000 | 68,330 | 総会、評議員会、役員会 |
| E　旅費 | 100,000 | 100,000 | 51,880 | 私中高P連総会、大祭湯茶接待、他 |
| F　事務費 | 200,000 | 200,000 | 61,030 | 諸消耗品代等 |
| G　特別委員会費 | 400,000 | 350,000 | 349,768 | 全国・中国地区私中高父母の会等 |
| H　雑費 | 100,000 | 30,000 | 75,990 | 標語パネル協賛金、振込手数料、エプロンクリーニング |
| 4　予備費 | 792,995 | 1,981,261 | 0 | |
| 合　計 | 6,532,995 | 7,211,261 | 4,362,133 | |

## Ⅱ．特別会計

**収入の部**　　（単位：円）

| 科　目 | R5予算額 | R4予算額 | R4決算額 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 1　特別会費 | 6,960,480 | 7,874,400 | 7,385,480 | 月額　@680 |
| 2　繰越金 | 5,769,908 | 5,812,160 | 5,812,160 | |
| 3　雑収入 | 10,000 | 10,000 | 0 | マスキングテープ売り上げ、生徒用コピー機利用料戻入 |
| 合　計 | 12,740,388 | 13,696,560 | 13,197,640 | |

**支出の部**

| 科　目 | R5予算額 | R4予算額 | R4決算額 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 1　教育後援費 | 12,740,388 | 13,696,560 | 7,427,732 | スポーツ振興センター共済掛金、生徒用コピー機、生徒会派遣費補助、事業積立金会計への積立等 |

**《教育後援費の内訳》**

| | |
|---|---|
| ①日本スポーツ振興センター共済掛金 | 1,200,000円 |
| ②高P連賠償責任補償制度加入掛金 | 400,000円 |
| ③私学ボランティア基金会費 | 20,000円 |
| ④私学ボランティア基金特別会費 | 10,000円 |
| ⑤高校図書室コインコピー機リース料 | 110,000円 |
| ⑥メールメイトシステム利用料（R6年度分） | 100,000円 |
| ⑦生徒会派遣費補助 | 6,000,000円 |
| ⑧事業積立会計へ | 1,000,000円 |
| ⑨予備費 | 3,900,388円 |
| | 12,740,388円 |

## Ⅲ．事業積立会計

**収入の部**　　（単位：円）

| 科　目 | R5予算額 | R4予算額 | R4決算額 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|
| 1　積立金 | 1,000,000 | 1,000,000 | 1,000,000 | 特別会計より |
| 2　繰越金 | 6,000,000 | 5,000,000 | 5,000,000 | |
| 合　計 | 7,000,000 | 6,000,000 | 6,000,000 | |

# Radford College 第5回姉妹校交流プログラム

2023年3月19日から29日にかけて、中三5名、高一4名、高二11名の計20名が、オーストラリアのラッドフォード校との姉妹校交流に参加しました。

ホームステイをし、バディと共に学校に通いながら、英語や現地の文化を学ぶことで、それぞれが素晴らしい思い出を胸に帰国しました。

（掲載学年は当時のものです）

## 「もう一つの家族ともう一つの故郷」

中3　久一　優生

「Hello!!」

初めて自分のもとに飛んできた元気なホストブラザーの声。たったそれだけの言葉がまるで自分とホストとをつなぎ合わせる橋のように、一瞬で次の言葉がこぼれ出る。もとから友だったかのように。人とつながることがこんなにも簡単なことかと驚く反面、自分に兄弟が増えたようで嬉しくもあった。

自分のホストファミリーと初めて会ったとき、顔を見ただけで優しい人たちだと分かった。これからの生活への不安をすべてほぐしてくれるような柔らかい笑顔に僕はこの家でのホームステイへの不安や心配を期待へと変えた。

食生活、文化、言葉、何から何まで違うなかで、僕らを導いてくれたのは他でもないホストファミリーだった。「ホストファミリーとの会話」が一番の関門だと思っていたが、その「会話」に助けられたのだ。

ホストマザーから生活の基盤・歴史、ブラザーから学校の過ごし方・ルール、ファザーから多くの場所・その知識を学んだ。そのおかげでオーストラリアの魅力が自分の中に入ってきて、今回のホームステイを余すことなく楽しめたのはホストファミリーと多く話したことが理由だと思う。

売店や店などの「店員との会話」はとても新鮮に感じた。日本では、会話したとしても「いらっしゃいませ」程度だ。対してオーストラリアでは「どこから来たの?」「いいセンスだね!」などと気さくに話しかけられることで、「ここで何かを買おう」と思えた。そこから、人に自分から声をかけることは人を引き寄せるのだと気づき、恥ずかしがる必要はないと考え方が変わった。

英語を完璧に話し、理解することのできない僕たちを優しくむかえてくれたホストファミリーには感謝してもしきれない。どれだけ聞き返しても、間違えて答えても何度も言い直してくれるなど、本当に素晴らしい人たちに出会えたと心から思う。

僕はホームステイ最終日、ホストにむけて手紙を書いた。そこには自分の心の底からの感謝を綴った。「まるでもう一つの家族に会えたようでとてもうれしい」「ここがもう一つの故郷だ」

このことを伝えるために自分で書き出した想いは伝わったようだった。

ホストマザーは涙を流して喜んでくれた。ブラザーは離れることを寂しがってくれた。ホストファザーは優しく抱きしめてくれた。彼らに「愛している」と伝えられて本当に良かったと思っている。

オーストラリア、そこはぼくのもう一つの家族のいるもう一つの故郷である。

## 「日本に帰って」

高1　能宗　仁

今日、僕はオーストラリアから帰ってきました。まだよく実感がわきませんが、とにかく無事に帰れたことを良かったと思いました。今回の旅は11日間でしたが実際よりもとても長く感じました。学校では友達もたくさんできました。良い思い出がたくさんのいい旅でした。

ラッドフォードではまずホストブラザーのカニと会いました。まずカニは学校の色々なことを丁寧に説明してくれました。そしてカニの友達と会いました。オーストラリアの人たちは初対面の僕達にも積極的に話し掛けてくれました。これは日本人はするのを苦手とすることで、ぼく

たちは初対面の人にはなかなか積極的に話すことができません。歓迎を受けて僕らもできるようになれば良いなと思いました。

ホストファミリーと別れた後、ぼくたちはシドニーに行きました。ここからはブルーマウンテンや海洋博物館などの色々な施設や公園に行きました。そこで気付いたことはオーストラリアは街の景観が良いということです。日本は街の景観を特に気にせず建物を立て街を作りますが、ここでは建物が計画的に建っていてきれいだと思いました。

僕たちはこの旅でいろんないい思い出を作ることができました。これまでささえてくれた人に感謝します。

## 「研修を終えて」

高２　金田　桃佳

オーストラリアで過ごす11日間はあっという間で充実した日々でした。

最初に初めてのホームステイについて話します。

私は英語を上手く話すことができないので、自分が知っている範囲内の英語を使いコミュニケーションを取りました。向こうの方はとても親切な方ばかりだったので私が言いたいことを理解しようと聞いてくれました。そのおかげで、私はホストファミリーと仲良くなることが出来ました。一緒にマリオカートして遊んだり、タピオカを飲んだり、写真を撮ったり、ダンスをしたり、お話をしたり本

当に笑ってばかりの日々を過ごしました。ホームステイでのご飯はほとんど美味しかったです。しかし、インド料理は私の口に少し合いませんでした。私のお気に入りの料理はホストファザーが朝に作ってくれるスクランブルエッグが美味しすぎてほぼ毎朝食べていました。

次に私がとても印象に残ったことは、オーストラリアの教育方法です。オーストラリアの授業では生徒一人一人が自ら手を挙げ、意見交換をしていました。日本の授業は先生が一方的に話していることが多いのでかなり違いを感じました。また、オーストラリアでは一人一人の違いを調和し合っているように思えました。様々な国の人が共存している為異なる価値観、文化、宗教が混在する世界で、それらがぶつかり合うことなく共存している世界観はとてもユニークで私にとってはとても新鮮でした。

最初は私にとって海外は手の届かない遠い存在でしたが、実際に海外に行ってみると世界の狭さを知りました。英語が喋れなくても海外の人とコミュニケーションをとることができました。しかし、私は英語で現地の人ともっともっとお話がしたいのでこれからもっともっと英語を勉強していこうと思います。

最後に新型コロナウィルスで制限されていることが多い生活の中でこのような体験ができたことは本当に恵まれていることだと感じました。本当にありがとうございました。

## 「この経験を糧に豊かな未来を作る」

高２　蒲生　幸香

マスクの着用義務なし・信号機はすぐに変わる・電車が来ていてもおかまいなしにみんな線路に飛び出す・お風呂はシャワーのみ。ひとつひとつが私にとって非日常で、毎日が新しい発見ばかりだった。初めてホストファミリーに出会い、家に行ったとき、本当にオーストラリアに来たんだなと改めて感じた。今さっきまで日本にいて日本の友達と日本語を話していたのに、もう今からは英語なんだなとそこで実感した。Hello. My name is Sachika. Nice to meet you.という簡単な挨拶だったけど、その一言が言えただけで嬉しかった。マディ（ホストシスター）と一緒に買い物に行き、ＵＮＯで遊び、映画を見て、写真もたくさん撮った。今まで日本でオーストラリアに行ったら、これを言ってみようと考えていた英語が使えたときは本当に嬉しかった。振り返れば、毎日毎日が本当に幸せだった。外に出ると見たことのない景色が広がっていて、日本を飛び出せばこんなにも違った景色があって、文化があって、人がいる。世界は広くてきっともっともっと世界中に私の知らない素敵な場所があるんだなと思った。それと同時に考えさせられるようなこともたくさんあった。私には大きな夢がある。それは将来、起業家になって、世界中にいる貧しい人々が幸せな生活を送れるようにすることだ。私はオーストラリアに来て、道のいたるところにいるホームレスをみて、初めて実際にある貧困問題を目の当たりにした。「Help me.」と書かれた段ボールが置かれてあり、お金をいれる箱を歩いている人に向けてお金を求めていた。でも、私が見た限りでは、誰もその箱にお金を入れていなかったし、見もせずに通り過ぎていくだけだった。私はこれがここでは日常なんだと思った。私はここで暮らしている人にもっと笑顔で幸せでいてほしい、だから絶対自分の夢をかなえようと思った。今はまだ何もできなくて口だけかもしれないけど、このオーストラリアに行って自分が感じたことは一生忘れない宝だと思う。だから私はこの経験を生

かして世の中をもっと豊かに、たくさんの笑顔であふれるものにしていきたい。この姉妹校交流のために準備や協力をしてくださった山本先生、東山先生、守安さんをはじめ、たくさんの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

## 「オーストラリア研修を終えて」

高２　仁科　有貴

私はオーストラリア研修でとても多くの貴重な経験をすることができました。オーストラリアのシドニーに到着し、飛行機から出ると全てが英語で書かれている世界が広がっていて海外に来たことを改めて感じました。それと同時に本当にここから先、ホストファミリーと会い英語でしかコミュニケーションのできない生活が始まることへの不安がどんどんと大きくなっていきました。しかし、ホストファミリーはとても優しく迎え入れてくれ、私の未熟な英語を一生懸命に聞き取ろうとしてくれ、とても安心でき、嬉しかったです。学校帰りにホストマザーがモールに連れて行ってくれて、お店で買い物をしたり、いろんな物を食べました。お店を見ながらホストシスターや弟と会話をするのはとても楽しい時間でした。ラッドフォードカレッジでの授業は、日本の授業とは全く異なり生徒が受け身ではなく自分達で考え、答えを導き出すという方式で私はとても楽しかったし、もし自分が教員になったら、こんな授業がしたいと思いました。ホストファミリーの家では、弟は、イタズラが好きで一緒にホストシスターにイタズラして、３人で笑ったのも、とてもいい思い出となっています。私のホストファザーは、無口な人であまり喋りかけてはくれず、初めは少し怖かったです。しかし、私は、どうしても仲良くなりたくて、必ずthank you やgood morningなどの挨拶を自分から積極的にしました。すると、だんだんと話してくれるようになり、最後の空港では、私が手を振ると振り返してくれました。その後、搭乗口まできてくれ、握手をしてくれました。私はそれがとても嬉しかったです。

シドニーでは、日本とは規模が全然違う大きな建物ばかりで、常に上を見上げて歩いていました。ブルーマウンテンやオペラハウスは、写真でしか見たことがない物を実際に見ることができたのでとても感動しました。海外での自主研修は、全く知らないところを生徒だけで行動するので、わからないことだらけでGoogle mapを頼りにしたり、現地の人に尋ねたりして、たくさん歩きました。だからこそ、目的地を見つけた時は、本当に嬉しかったし、達成感で満ち溢れていました。帰りは、とても疲れていて歩いて帰る気にはならなかったので、少し怖かったけれどタクシーを使ってみました。運転手の人にGoogle mapを見せながら説明して、ホテルまで辿り着けた時は安心しました。私は、これらの多くの貴重な体験から、積極的に行動することの大切さを学びました。そして、自分の視野が大きく広がった気がします。私の将来の夢である小学校の教員になるということにおいてもとても良い経験になりました。この研修で学んだことを伝え、これからの生活に活かしていこうと思います。



# ＡＦＳ留学生紹介

４月からＡＦＳ留学生が３名来ています。コダ・シロヴィさんはアメリカ出身で高校１年３組、フラミニア・ペトロチェッリさんはイタリア出身で高校１年４組、オクタビオ・ウェバくんはパラグアイ出身で高校１年５組に在籍しています。

## コダ・シロヴィさん

“Hello! My name is Koda Sirovy. I am an exchange student from America. I live in Iowa, U.S.A., which is near the middle of America. I am an exchange student from March 2023 to February 2024. I am involved in the art club and enjoy it very much. I hope to make lots of friends and memories here.„（こんにちは！私の名前はコダ・シロヴィです。アメリカからの交換留学生です。アメリカのアイオワ州出身で、アイオワ州はアメリカの中央寄りにあります。私は２０２３年３月から２０２４年２月まで日本にいる予定です。美術部に参加していてとても楽しんでいます。ここでたくさんの友人や思い出を作りたいです。）

## フラミニア・ペトロチェッリさん

“Hello. My name is Flaminia Petrocelli. I'm from Rome, Italy. I like painting and playing cards. Nice to meet you all.„（こんにちは。私の名前はフラミニア・ペトロチェッリです。私は絵を描くことととトランプが好きです。みなさんよろしくお願いします。）

## オクタビオ・ウェバくん

“Hello, I am Octavio Weber and I am from Paraguay. When I entered Konkou Gakuen, I was a little nervous. I came here to study Japanese and probably study to make video games. I am grateful that Konko Gakuen accepted me and I am happy.„（こんにちは。僕はオクタビオ・ウェバでパラグアイ出身です。金光学園に初めて来たとき、少し緊張していました。僕は日本語やビデオゲーム作成を学びに来ました。学校が僕を留学生として受け入れてくださったことを嬉しく思っています。）

芸術鑑賞会

# 金光学園　スペシャル　バージョン　バンド

## ―日本のトップミュージシャンによるスペシャルコンサート―

6月2日（水）、中高校生がほつま体育館に集合し、芸術鑑賞会が開催された。

トロンボーン奏者の中川英二郎さん、サックス奏者の本田雅人さん、ピアノ奏者の宮本貴奈さん、ベース奏者の川村竜さん、ドラム奏者の川口千里さんら、日本を代表するトップミュージシャンが金光学園に集結し、大迫力のジャズ演奏を楽しませていただいた。

演奏者の皆様、そして前日から綿密な準備をして下さったスタッフの皆様、素敵な時間をありがとうございました。

### 「音楽は自由」

中1　4組　鈴木菜那子

今日の芸術鑑賞はすごく楽しい時間でした。その中で私が特に印象に残っていることは2つあります。

1つ目は、音が地面を揺らすような迫力ある演奏だったところです。私はクラシックのような落ち着きがあり、優雅な曲は何度も聞いたことがありましたが、ジャズを生で聴くのは初めてですごく気になっていました。演奏が始まると、楽器の音が体育館中に響き渡り、思わず踊りたくなるようなテンポの良い迫力のある演奏でした。ジャズはクラシックのようにピアノだけがメインではなく、打楽器などもメインになっていて、その場が盛り上がる音楽でした。使っている楽器のなかには初めて見る楽器もたくさんあり、興味深いなと思いました。

2つ目は、『音楽の自由』と言うことについてです。演奏者は体全体を使って音楽を自由に表現していました。なぜこのように表現するのだろうと思っていましたが、演奏を見て聴いていくうちに聴いている側も、自然とリズムに乗って手拍子などをしていました。体全体で表現することで、音楽の楽しさがより伝わってきました。音楽には、様々な伝え方の自由があるのだなと思いました。これからは、たくさん音楽の楽しさを見つけていきたいです。

### 「音楽鑑賞を通して思ったこと」

中2　3組　原田　英明

今回思ったことは、音楽は人を明るくすることができる、だ。

私は聞く前、ずっと気分が落ち込み気味だった。しかしその不安は、演奏が始まったときから吹き飛んだ。強く勇ましいドラムの音、皆の心をつかむように美しく楽しいトロンボーン、力強く下から支えてくれるギター、全てが歯車のようにカッチリあてはまるように、そして自由に。

自由とはFree、つまり自分勝手に演奏して、とにかく明るく演じることだと思っていた。確かにみんな自由だ。楽しそうに体を振りながら演奏していた。しかし、その中でもいろんな役があり、皆が皆を引き立て合っていた。しかし一番良かったのは、みんな楽しそうに演じていることだった。キレイに美しく演奏することも時には重要だ。しかし、本当に大切なのは、どれだけ皆が楽しめているか、演奏者が楽しんでいるかだった。そして、楽しんでいるからこそ、皆にもその楽しいという気持ちが伝わってくる。

演奏が終わったとき、私は残念という気持ちもあったが、それ以外、いや、それ以上に晴れがましいような気持ちになり、体がすっと軽くなるような感じがした。知らぬ間に溜めていたストレスがジャズのおかげで解き放つことができたのだろう。私はこのジャズという音楽で救われた。少し大げさかも知れないが、この人達の演奏を聞けて本当に良かったと思っているし、前向きにもなれた。音楽は人の心を豊かにする素晴らしいものだと気づかされた。

### 「これからのドラムのモチベーション」

中3　2組　山本　芽依

私は芸術鑑賞で、吹奏楽部員として、様々な衝撃と感動を受けました。

今日の芸術鑑賞で来られた方々は、本当に凄いという言葉では言い表せないほどの方たちでした。吹奏楽部は、四限にリハーサルをしました。そこで初めて演奏を聞きましたが、本当に鳥肌が経ちました。少人数で演奏しているのにも関わらず、迫力と圧力、音の重力が重なり圧倒されました。私はパーカッションで主にドラムに重きを置いているので、ドラムの川口千里さんの凄さを特に実感しました。身長や、体格は私と変わらないのに女性が叩いているとは思えないほどの音量と迫力でした。今まで私は色々なドラマーを見てきましたが、ここまで心の底から尊敬できたのは川口千里さんが初めてでした。私は芸術鑑賞でドラムを叩く予定はありませんでしたが、川口千里さんが、「曲の途中で交代しよう！」と言っ

てくださり、『The chicken』という曲の途中で交代しました。プロがソロをしている背後でドラムを叩けたことは、ありえないほどの貴重な経験だったと思います。川口千里さんは、主にジャズドラムをしていました。私はあまりジャズに触れた事がないので、どのくらい凄いのかは聞いただけでは分かりませんでしたが、動きが素早くテンポも安定していて、プロの演奏って素晴らしいなと思いました。芸術鑑賞後に、お話できなかったことが少し心残りではありましたが、これからドラムを続けていくうえでのモチベーションがハッキリしました。私は川口千里さんのようなドラムを目指し、部活動と習い事で練習していきたいと思います。私は今までドラムを趣味として、何となく5年間続けてきました。しかし、明確な目標ができた今、目標に向かって努力していきます。

## 「迫力のある演奏」

高1　2組　鈴木　陽太

僕は芸術鑑賞を見終えて「すごいな」と思ったところが二つあります。

一つ目は言うまでもないかもしれませんが、やはり迫力のある演奏です。あの団体の皆さんは有名な方だけあって本当に素晴らしい音色を奏でていました。吹奏楽部とのコラボ演奏の時にも、大人数との演奏にもぴったり合うようにしていたのか、とても美しい音が響き渡ってきました。やはり音楽のプロというのはレベルが違うんだなと思いました。

二つ目は「自由さ」です。演奏者の皆さんが最初に「自由を大切にしている」と言っていました。「自由」といっても、プロの方達の「自由」とは一体どのようなものなのかと思いましたが、演奏している皆さんはとても楽しそうに演奏していて、ありのままの自分を出している様でした。僕達が演奏するなら、集中しすぎてとても楽しそうにはできません。もちろんプロの方も集中しているとは思いますが、それを、良い意味であまり感じさせないような演奏でした。

僕達は今、大学受験を考えなければいけない時期です。先生方はよく「どの大学に行けるかではなく、どの大学に行きたいか」と言いますが、今回の芸術鑑賞で音楽のプロの方を見て、それがよく分かりました。「彼らも音楽が楽しくて好きだったからこそこの道を選んだのだな」と。だから僕も彼らみたいに行きたい道に行けるようにこれからも精進していきたいと思います。

## 「心踊るリズム」

高2　2組　東　優翔

僕は今回の芸術鑑賞で改めて音楽の楽しさというものを学びました。僕はコーラス部の部長で音楽に関しては日頃から触れる機会が多いのですが、コーラスのきっちりした拍ではなくジャズ特有の少し崩したリズムを聞かせていただき、とても心が踊りました。ジャズといえば特にアドリブによるソロパートが注目のポイントなのですが、奏者の方が楽曲を楽しんでいて尋常じゃない表現力を感じられました。金管楽器というのは吹くための肺活量、そして音を鳴らすための指の動きが必要になります。そしてその域に

達するには、かなりの努力が求められるのですが、今回の演奏で相当裏で努力をしたんだなという風に感じました。全体の中で僕が特に注目したのはドラムです。ドラムというのはその曲のテンポを全て作るので一番重要なパートになります。早すぎても遅すぎてもいけないというプレッシャーのかかる状況で一定の拍でリズムがとれるのは本当にすごいなと思いました。今回の芸術鑑賞は僕にとって有意義な時間になりました。今から来年の芸術鑑賞が楽しみです。

## 「音楽の力」

高3　2組　宮本　望愛

私は最前列で生の音色を聴いて演奏の表現方法の種類がとても多いことに驚いた。激しいジャズや吹奏楽で有名な曲、今流行りの曲など、曲ごとの雰囲気に合わせて楽器や吹き方も工夫されていて、感銘を受けた。特に印象に残っているのはアンパンマンのマーチと宝島だ。サックス奏者である本田雅人さんがリコーダーを使って原曲の雰囲気とは全く違う音色で演奏されたことに衝撃を受けた。宝島ではウインドシンセサイザーという楽器の調子が良くないと感じて瞬時にA.saxに持ち替えて演奏されている姿に感服させられた。また、宝島は吹奏楽で有名な曲でもあり、聴きながら言葉には表すことができないほど感動した。

そして、最後のアンコールでは吹奏楽団が5名のミュージシャンの方とセッションさせていただき、ステージの上で一緒に演奏することができた。リハーサルの時から迫力には驚いていたが、本番になりステージで演奏している時は、自分の吹いている音が全く聞こえないほどの今までには感じたことのない音圧を体験した。2曲アンコールを演奏させていただいている時間はとても楽しく幸せを感じていた。吹奏楽団が今回の5名の方とセッションさせていただいたことは絶対に忘れない貴重な経験になった。

今回の芸術鑑賞で私は音楽のすばらしい力を改めて感じた。音楽は人に感動と元気を与えてくれる。それをもう一度強く実感することができた演奏会だった。私は、今まで続けてきた音楽をこれからも続けていきたいと考えている。たくさんの人に感動を届けられる演奏ができるよう、これからも頑張っていきたい。

# 高3人権講演

# 「私の歩んだ道 ―見えないから見えたもの―」

NPO法人　ヒカリカナタ基金　理事長　竹内　昌彦先生

### 「自分にしかできないこと」

1組　金田　桃佳

目が見えないからと諦めず、何事にも挑戦している竹内さんの姿勢を見ると、すごく元気が出ました。私たちが何となく過ごしている生活は、沢山の奇跡で成り立っていることを改めて感じました。どんなに周りからバカにされても挫けることなく、逆にやり返すくらいの強い気持ちを持っている竹内さんのことを、本当に尊敬します。私はよく人と比べ自分の欠点に対して落ち込んでいましたが、これからは自分にしか持っていない欠点だと思い、自分にしかできないことを考え、人の為になることをしたいと決心しました。

### 「思い出した友人のこと」

2組　片山　杏悠

目が見えない障碍者だときいて、小学校の頃の耳が聞こえない友達のことを思い出した。学校も違うし年も違ったが週1で遊ぶくらい仲の良い友達だった。ただ健常者の同じ年の友達と比べると面倒だと思うこともあって途中から遊ぶことも減り中学から連絡をとらなくなった。今日の講演で、いじめられていた時の話や大変だった時の話を聞いて、その友達の親に感謝されていたことを思い出すとその友達も大変な思いをしていたんだろうなと思った。今回の話を聞いて小さい頃の一時的な感情で連絡をとらなくなってしまったのをすごく後悔した。また何とかして連絡をとってみようと思えるいい機会になった。



### 「当たり前のことに感謝」

3組　楠　翔汰

今、自分が当たり前に野球や勉強などができていることは当たり前ではないと気づけて、いろんな人にもっと自分が感謝すべきだと思いました。また目が見えなくてもあきらめることなく知って、自分も逆境や苦しい時でもあきらめずに頑張ってみようと強く思いました。今までは点字ブロックの上に物や人が立っていても何も行動に移すことができていなかったけど、これからは勇気を持って行動に移してみようと思いました。

### 「人を助けるという軸を持つ」

4組　近藤　天心

僕が一番感動したのは親は子どものためなら死ぬことができるという言葉です。自分の命は自分だけのものではなくて、自分が死んだらどれほど悲しい気持ちになる人がいるかを考えろというのが心に残りました。人を助けるという人生の軸を持っていれば、その軸はぶれないのですばらしいと思いました。また、健康で生活に何一つ不自由ない人が自殺してしまうのは、生きていること自体が大変な人たちにとっては理解しがたいことなのだとわかった。

### 「普段を見つめ直して」

5組　岡成　晃平

竹内先生のお話を聞いて学ぶことがたくさんあった。目が見えない人だからこその目線で当たり前のようなことを言われてとても説得力があった。特にリーダーでその集団が変わるという言葉が印象に残った。自分は寮長で、普段いろいろなことを厳しく言っているが、それが果たして本当にあっているのかを考え直すきっかけとなった。竹内先生の生い立ちから今社会で問題になっていることを解決する方法を学んだ。周りのものに感謝をもって生活しようと思った。

### 「『生きる』という点では同じ」

6組　廣末　葉月

私は先生の話を聞いて、健常者と障がい者の違いとは何だろうかと考えた。身体的な差異こそあれど、差別してよい理由は何もないし、「生きる」という点において皆同じであると思った。何気ない生活の中でも、他人を思いやって行動したり、積極的なコミュニケーションをしたりしてありがとうと言われるような生き方、やさしく、立派な人間になるためにしっかり勉強を、意志をもって取り組みたいと思った。先生の話を聞けてとてもよかったと思った。

KONKO GAKUEN Presents

# 金光学園「学童サマースクール2023」募集要項

## ① 募集対象及び募集人数

募集対象／小学3年生～6年生
募集人数／【A・Bコース】合わせて65名

## ② 募集期間

令和5年6月9日（金）～7月8日（土）
※定員になり次第、締め切ります。ご了承ください。

## ③ 参 加 費

お申込みの際【Aコース】又は【Bコース】を選んでお申込みください。

【Aコース】1人／27,000円　別途おやつ代／3,000円
【Bコース】1人／20,000円　別途おやつ代／2,200円
※参加費とおやつ代は、お申込時に一括納入してください。
　途中解約等の返金はできません。
※イベント等の別途費用は、後日集金いたします。
《参加費割引制度》
①兄弟姉妹割引制度／今回のサマースクールに参加する兄弟姉妹の2人目から、参加費を【Aコース】2000円、【Bコース】1500円を割引きます。
②「土曜チャレンジ講座2023」参加者割引制度／今年度土曜講座参加者は、参加費を【Aコース】2000円、【Bコース】1500円を割引きます。
ただし、①②の割引の併用はありません。

## ④ お申込み方法

スマートフォン又はパソコンで、右掲載のQRコードを読み込んでいただくか、下記のURLより「学童サマースクール2023」を開いて、必要事項を入力の上送信してください。
URL　https://forms.gle/diBdqag8E5F7huxRA

お申込み不要

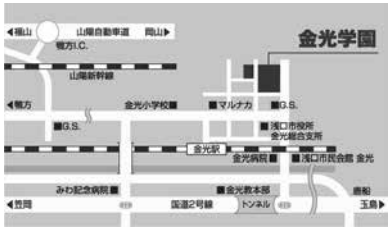
**金光学園 2023「学童サマースクール」説明会**

とき　令和5年6月18日(日) 13:30～15:00　ところ　金光学園内 記念講堂

## ⑤ 参加費及びおやつ代納入方法

お申し込みと同時に、下記の振込先にお振込みください。
お振込み完了でお申込完了となります。
《振込先》
中国銀行　金光支店　普通　2517702
名義　金光学園わかばプロジェクト
①振込は、参加者名（児童名）でお振込みください。
②割引のある方は「（参加費-割引額）＋おやつ代」でお振込みください。
③振込手数料は参加者の方でご負担願います。

## ⑥ アクセス　JR金光駅から徒歩8分




## ⑦ 各QRコード

サマースクール申し込み
わかばプロジェクトホームページ
金光学園ホームページ

## ⑧ 申し込み及び問合せ先

住所／〒719-0104　岡山県浅口市金光町占見新田1350
　金光学園内「学童サマースクール」係
電話／金光学園　☎0865-42-3131
　わかばプロジェクト　☎090-2863-8273

私たちは、サマースクール参加の皆様を応援しています
Special Thanks

浅野石油㈱、和泉正一、植田桂之、㈲ウエハラ事務機、エラヤ食品工業㈱、大野豊、尾原淑子、垣内フォトスタジオ、㈱角田興業、兼髙保志司法書士事務所、神田繁雄、菊池酒造㈱、㈱吉川隆泉堂、㈱共栄店舗、㈱甲修園、コーモト薬局、きもの処 紅葉堂、小林彬二、金光浩道、金光平輝、金光道晴、佐藤正俊、㈱サンラヴィアン、㈱伸友、㈱正文社印刷所、㈲髙島電機、髙田信吾、㈲ダスキン西岡山、田淵美賀雄、中国興業㈱、徳永製菓㈱、㈱都市環境研究所、㈱虎屋本舗、㈱トンボ、長鋪汽船㈱、長鋪龍洋、長鋪千帆、長鋪方隆、中谷興運㈱、中谷庄吾、日塗㈱、土屋宏法律事務所、平松エンタープライズ㈱、藤井尚、㈱ほつま、守永運輸㈱、Morphee・namba、安田智幸、山本雅夫、山本善直、横山俊則、渡辺胃腸科外科病院、匿名4名
（50音順）

【後援】ゆめネット・笠岡放送㈱、玉島テレビ放送㈱

子どもたちを応援する「金光学園わかばプロジェクト」の協賛を随時受け付けております。わかばプロジェクトまでご連絡ください。



対象 小学3～6年生

金光学園 PRESENTS 2023

# 学童サマースクール

期間
【Aコース】7月24日(月)～8月22日(火)
【Bコース】8月　1日(火)～8月22日(火)

## ごあいさつ

金光学園中学・高等学校長
金光 道晴

金光学園では、地域教育に貢献することを目的に昨年「わかばプロジェクト」を設立し、「小学生土曜チャレンジ講座」「学童サマースクール」「ワンデイ・ウインター・スクール」を開催しました。この3つの行事に延べ225名の児童の皆さんが参加してくださり、どの行事も有意義で大変楽しい会になりました。特に「学童サマースクール」は朝早くから夕方遅くまで金光学園に通っていただき、勉強だけでなく様々なイベントや体験ができるプログラムになっており、小学生の皆さんは勿論のこと保護者の方にも大変喜んでいただきました。
今回も、昨年にも増して様々なプログラムが用意されています。暑い夏ですが「サマースクール」でお友達と一緒に大いに学び大いに遊んで、思い出に残る楽しい夏を過ごしてください。皆様とお会いできることを楽しみにしております。

## 学び×体験×仲間との楽しい時間＝金光学園「学童サマースクール」

■夏休み宿題の問題集はもちろん、読書感想文、絵画、書写、発明工夫もアドバイスいたします。宿題を完璧にやりきろう！
■6年生対象「金光学園入試過去問講座」、5年生対象「実力アップ講座」で、学力アップにチャレンジ！
■「夏祭り」「キャンプ」は、仲間と一緒に企画運営して、一回り大きな自分になれるチャンス！
■「バス研修」「キャンプ」「コンサート」「ゲーム大会」「モノづくり」等々、「学サマ」独自の楽しいイベントで最高の思い出を！
■金光学園の先生と生徒、わかプロスタッフがしっかりサポートします。さあ、いつもと違う「ナツ」を金光学園で一緒に過ごしましょう！

金光学園「わかばプロジェクト」スタッフ一同

**主催／金光学園「わかばプロジェクト」**

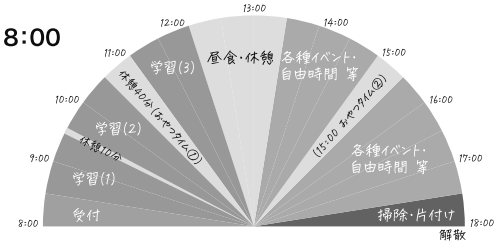
# 金光学園「学童サマースクール2023」プログラム

**期　間**　【Aコース】令和5年**7月24日(月)～8月22日(火) 全23日間**
【Bコース】令和5年**8月　1日(火)～8月22日(火) 全16日間**
ただし、日曜日、8月11日(山の日)、8月13～15日は除く。

**場　所**　金光学園内　記念講堂　他

**時　間**　月曜日～土曜日　8:00～18:00

## 1日のスケジュール




8:00～ 8:30　受付
8:30～ 9:20　学習(1) 夏休み宿題等自主学習
休憩10分
9:30～10:20　学習(2) 夏休み宿題等自主学習
休憩40分(おやつタイム①)
11:00～12:00　学習(3) 6年生「過去問講座」
5年生「実力アップ講座」
3･4年生「ショーン先生と英語で遊ぼう」
「PCによるネット学習」「自由研究」「読書」他
12:00～13:30　昼食･休憩
13:30～17:30　各種イベント、自由時間 等(15:00おやつタイム②)
17:30～18:00　掃除･片付け　解散

※このスケジュールは基本です。イベントや状況によって変更する場合もあります。
※出席、欠席、遅刻、早退は自由ですが、必ず連絡をお願いいたします。また、学習時間中の出入りは原則禁止いたします。
※イベントの参加は希望制です。ただし、内容、会場、スタッフの都合上全員参加をお願いする場合があります。また、準備の都合上前もって参加予定表を提出していただきます。

### 学習内容について

■学習(1)(2)／夏休み宿題を中心に自主学習に取り組みます。
■学習(3)／6年生「金光学園入試過去問講座」、5年生「実力アップ講座」に参加していただき、算数と国語の学習のポイントなど金光学園の教師が指導いたします。3･4年生／「ショーン先生と英語で遊ぼう」「読書」「自由研究」「PCネット学習教材《すらら》で学習」「プリント学習」等、自分で選んで"自由な学び"の時間を過ごします。
■学習中は教師と生徒が付いてアドバイスいたします。

### イベントについて

■イベントは原則希望者対象ですが、できるだけ皆さんに参加していただきたいと願っています。
■イベントには、別途参加費が必要なものもあります。
■イベントには、ご家族、お友達等参加可能なものもあります。
■「あつまれ！金光学園」は金光学園学校主催行事です。こちらに参加希望の方は別途参加申し込みが必要です。(金光学園HP参照)
■詳細は右ページ「スケジュール」をご参照ください。

### 飲食等について

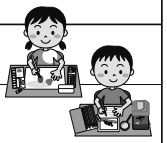
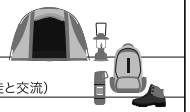
■昼食が必要で持参できない方は、期間中コンビニから出張販売をしていただきますのでご利用ください。
■おやつは、午前と午後の2回配布いたします。アレルギーのある方は、個人調査票を元に十分注意いたしますが、お子様にご指導をお願いいたします。
■飲み物は、各自十分な量ご持参ください。校内の自動販売機もご利用いただけます。

### その他

■緊急連絡等、参加者全員への連絡は「わかばプロジェクトメール」に登録していただき、一斉メール配信により連絡いたします。個別連絡については、個々のメールアドレスまたは電話での連絡になります。
■自然災害等主催者責任でない休校等につきましては、参加費の返金はいたしません。主催者の責任で休校等が発生した場合は、(1000円×日数)で返金いたします。



## サマースクール2023スケジュール（都合により、予告なしに変更する場合があります。ご了承ください。）

| 月 | 日／曜日 | 午前（過去問講座　他予定） | 午後（イベント予定） |
|---|---|---|---|
| 7月 | 24／月 | 8:30～　「学サマ開校セレモニー」※家族参加可<br>9:30～　「夏休み学習計画づくり」「自主学習」 | 13:30～　校内オリエンテーリング<br>15:30～　ゲーム大会「みんな友達だ！」 |
| | 25／火 | 学習(1)(2)(3)過去問講座･実力アップ講座(算数①) | 宿題対策「読書感想文読み聞かせ」「工作何でも相談①」 |
| | 26／水 | 学習(1)(2)(3)過去問講座･実力アップ講座(国語①)<br>ショーン先生と英語で遊ぼう①(3･4年生対象) | 宿題対策「作文が得意になる読書感想文講座①」「工作何でも相談②」 |
| | 27／木 | 学習(1)(2)(3)過去問講座･実力アップ講座(算数②) | 宿題対策「作文が得意になる読書感想文講座②」<br>15:30～　学サマコンサート①「金光学園音楽部コーラスと一緒に歌おう！」 |
| | 28／金 | 9:00～16:00　学サマバス研修(参加費1500円＋昼食代) ※学校から貸切バスで行きます。<br>《午前》倉敷自然史博物館研修(学芸員によるバックヤードの説明と見学)<br>《午後》ヘルスピア倉敷にて、「ボルダリング」又は「アイススケート体験(インストラクター付き)」は各自選択<br>※不参加の方は、校内で別メニューで過ごします。 | |
| | 29／土 | 学習(1)(2)(3)自由学習･自由研究等 | 13:30～　「皆さんにぜひ見てほしいスタッフ厳選映画鑑賞会①」 |
| | 30／日 | 休み | |
| | 31／月 | 学習(1)(2)(3)過去問講座･実力アップ講座(国語②)<br>ショーン先生と英語で遊ぼう②(3･4年生対象) | 楽しい！美味しい！クッキーづくり教室(参加費400円) |
| 8月 | 1／火 | 《B》コース参加者対象オリエンテーション<br>学習(1)(2)(3)過去問講座･実力アップ講座(算数③)<br>9:00～12:00　あつまれ金光学園へ(陸上競技部) | 夏まつり実行委員会発足(以後随時開催)<br>仲間と一緒に、自分たちの夏祭りを創ります！<br>「工作何でも相談③」<br>  |
| | 2／水 | 学習(1)(2)(3)過去問講座･実力アップ講座(国語③)<br>ショーン先生と英語で遊ぼう③(3･4年生対象)<br>9:00～12:00　あつまれ金光学園へ(中学野球部) | 宿題対策「きっと絵が好きになる絵画･ポスター教室」 |
| | 3／木 | 学習(1)(2)(3)過去問講座･実力アップ講座(算数④)<br>9:00～12:00　あつまれ金光学園へ(未定) | 13:30～　編みぐるみ作家の光恵さんによるお話とワークショップ<br>「オランと学ぼう！編み物をとおして地球のこれからを学びます」<br>(参加費200円) ※家族参加可 |
| | 4／金 | 学習(1)(2)(3)過去問講座･実力アップ講座(国語④)<br>9:00～12:00　あつまれ金光学園へ(吹奏楽団) | 「モノづくりの楽しみ」<br>様々な材料を使ったモノづくりを楽しみます。 |
| | 5／土 | 学習(1)(2)(3)自由学習･自由研究等 | 「ニュースポーツ大会」※家族･友達参加可<br>ニュースポーツとはどんなスポーツ？それはヒ･ミ･ツ |
| | 6／日 | 休み | |
| | 7／月 | 学習(1)(2)(3)過去問講座･実力アップ講座(算数⑤)<br>9:00～12:00　あつまれ！金光学園へ(中学女子バスケ部) | 13:30～　遠藤アナウンサーによる「コミュニケーションワークショップ」&<br>学サマコンサート②「朗読とチェロ、バイオリン、ピアノによる音楽物語<br>"セロ弾きのゴーシュ"」※家族参加可 |
| | 8／火 | 学習(1)(2)(3)過去問講座･実力アップ講座(国語⑤) | 宿題対策「書写教室」<br>キャンプ実行委員会発足(以後随時開催)<br>仲間と一緒にキャンプを企画･運営してみよう<br>  |
| | 9／水 | 学習(1)(2)(3)過去問講座･実力アップ講座(算数⑥) | 国際交流「世界の仲間と遊ぼう！」<br>(岡大留学生、学園留学生、学園国際交流クラブ生徒と交流) |
| | 10／木 | 学習(1)(2)(3)過去問講座･実力アップ講座(国語⑥) | 夏まつり･キャンプ準備<br>15:30～　学サマコンサート③「日頃聴くことがない、津軽三味線と篠笛の素朴で力強い日本の音楽に触れてみよう！」※家族参加可 |
| | 11／金 | 休み(山の日) | |
| | 12／土 | 学習(1)(2)　11:00～準備<br>15:00～19:00　「夏だ！まつりだ！みんな集まれ！」《ゲームコーナー》《イベントタイム》※家族、友人参加可<br>学サマコンサート④「土曜講座発表"お箏の美しい音色"」「金光学園音楽部吹奏楽団演奏」<br>「桧山学(B.Acc)＆中村尚美(W.Bs)ジャズコンサート」他 | |
| | 13／日 | 休み | |
| | 14／月 | 休み | |
| | 15／火 | 休み | |
| | 16／水 | 学習(1)(2)<br>11:00～　(ただいま、楽しいこと考え中) | キャンプ打合せ･用具準備等 |
| | 17／木 | キャンプ　日　時／17日9:00～18日15:00　場　所／遥照山藤波キャンプ場 ※学校からバスで往復します。<br>参加費／4500円(バス代、施設設備使用料、食費、他)<br>※ボーイスカウト指導者の指導の下に実施いたします。詳細は後日連絡。<br>※不参加の方は、校内で別メニューで過ごします。 | |
| | 18／金 | | |
| | 19／土 | 学習(1)(2)(3)自由学習･自由研究等 | 13:30～　「皆さんにぜひ見てほしいスタッフ厳選映画鑑賞会②」 |
| | 20／日 | 休み | |
| | 21／月 | 学習(1)(2)(3)宿題総点検日 | 仲間との絆ゲーム大会<br>学サマの仲間との絆を深める、楽しい時間を過ごしましょう！ |
| | 22／火 | サマースクールを振り返ってみましょう。キミはこの学サマで何を体験し、何を考え、どのように成長した？ | 15:00　「学サマ修了証授与式」「お別れの会」※家族参加可<br>17:00　片付け掃除<br>17:30　解散 |

# オープンスクール 一日入学のお知らせ

日時　2023年6月24日（土）　午前（小学生）
　　7月23日（日）　午前（小学生・中学生）
　　8月26日（土）　午後（中学生）

場所　金光学園中学・高等学校

対象　小学５・６年生と保護者の方
　　中学１・２・３年生と保護者の方
　　※小学３・４年生対象のプログラムもあります。

内容　授業体験（小学生・中学生）、部活動体験、個別相談会
　　学校・入試説明会

## 6/24（土）オープンスクール

| | 小学５・６年生対象 | | 小学３・４年生対象 |
|---|---|---|---|
| 14:00～ | 受付（正面玄関） | | |
| 14:30～15:20 | 授業体験 | 学校説明会①（120大講義室）※保護者対象<br>体験発表 | チャレンジコーナー<br>（被服教室・図書室） |
| 15:20～16:00 | 個別相談会、在校生・保護者とのフリートーク（120大講義室） | | |

## 7/23（日）オープンスクール

| | 小学５・６年生、中学生対象 | | 小学３・４年生対象 |
|---|---|---|---|
| 8:40～ | 受付（ほつま体育館下） | | |
| 9:10～9:20 | オープニングセレモニー（ほつま体育館） | | |
| 9:20～9:40 | オリエンテーション | | |
| 9:55～10:45 | 授業体験 | 学校説明会①（120大講義室）※保護者対象<br>体験発表 | チャレンジコーナー<br>（被服教室・図書室） |
| 11:05～12:05 | 部活動体験 | 学校説明会②（120大講義室）※保護者対象<br>体験発表 | |
| 12:05～ | 個別相談会、在校生・保護者とのフリートーク | | |

## 8/26（土）オープンスクール

| | 中学生対象 | |
|---|---|---|
| 14:00～ | 受付（正面玄関） | |
| 14:30～15:20 | 授業体験<br>入試対策 | 学校説明会①（120大講義室）※保護者対象<br>体験発表 |
| 15:40～16:40 | 部活動体験 | 学校説明会②（120大講義室）※保護者対象<br>体験発表 |

＊学校紹介，昨年度の入試結果，2024年度入試についてご説明いたします。
＊学校説明会①・②は同じ内容で行います。どちらかにご参加ください。
＊1日体験入学は，教科によっては定員に限りがあります。先着順で定員になり次第、第2希望とさせていただきますので、お早めにお申し込みください。
＊雨天の場合、体育はタオルを用いたフィットネスを予定しておりますので運動できる服装・体育館シューズ・タオルをご持参ください。



## ［授業体験］

●6/24 14:30～15:20　●7/23 9:55～10:45　チャレンジコーナー 9：55～12：05

| | | 教科 | 内容「タイトル」 | 対象 |
|---|---|---|---|---|
| 小学生対象 | A | 国語 | [6・7月] 目指せ日本語マスター／［7月］入試対策授業 | 小学生 |
| | B | 社会 | [6月] 古墳にコーフン!／［7月］～どうした!家康～／［7月］入試対策授業 | |
| | C | 数学 | [6・7月] 謎解きは金光学園で!!／［7月］入試対策授業 | |
| | D | 理科 | [6・7月] ためしてなっとく!～電池のしくみ～／［7月］入試対策授業 | |
| | E | 英語 | [6・7月] Let's have fun in English! | |
| | F | 美術 | [6月]立体感のあるデザインに挑戦／[7月]人物を描くコツ教えます! | |
| | G | 体育 | [6・7月] Let's play Tee-ball！※運動できる服装・靴をご持参ください | |
| | H | チャレンジコーナー | [6・7月]楽しい工作にチャレンジ，探検ツアー（途中退場できます） | |

●7/23 9:55～10:45　●8/26 14:30～15:20

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 中学生対象 | I | 国語 | [7月] 発見!!語彙力向上法／［8月］入試対策授業 | 中学生 |
| | J | 社会 | [7・8月] 美味しく推し活!世界のグルメ | |
| | K | 数学 | [7月] 伝説に挑戦～ハノイの塔～／［8月］入試対策授業 | |
| | L | 生物 | [7・8月] 真夏の大解剖祭～魚編～ | |
| | M | 化学 | [7・8月] 割りばしは「エゴ」じゃない?割りばしから紙づくり | |
| | N | 英語 | [7月] 英語の感覚を身につけよう!／［8月］入試対策授業 | |
| | O | 美術 | [8月] 表現が広がるデッサン体験 | |

＊学校紹介，昨年度の入試結果，2024年度入試について ご説明いたします。
＊学校説明会①・②は同じ内容で行います。どちらかにご参加ください。
＊1日体験入学は，教科によっては定員に限りがあります。先着順で定員になり次第、第2希望とさせていただきますので，お早めにお申し込みください。
＊雨天の場合体育はタオルを用いたフィットネスを予定しておりますので運動できる服装・体育館シューズ・タオルをご持参ください。

## ［部活動体験］

11:05～12:05(小・中学生7月)
15:40～16:40(中学生8月)
①新聞部　②天文部　③生物部（小学生のみ）
④電気科学部（小学生のみ）　⑤書道部
⑥茶道部　⑦音楽部吹奏楽団
⑧音楽部コーラス　⑨放送部
⑩科学部(7月小学生のみ) ⑪美術部
⑫ソフトテニス部　⑬卓球部　⑭野球部
⑮サッカー部（小学生のみ）　⑯柔道部
⑰剣道部　⑱バスケットボール部
⑲バレーボール部（男子のみ）
⑳少林寺拳法部　㉑ダンス部　㉒陸上競技部

＊小学５・６年生と中学生が対象です。
＊運動部は運動ができる服装でお越しください。（例：野球は長ズボン）授業後の着替え場所はあります。
＊道具類／野球部は帽子・グローブ・スパイク・ユニフォームがあればご持参ください。卓球部・バスケットボール部・バレーボール部・ダンス部は，体育館シコーズをご持参ください。
テニス部・卓球部はラケット・サッカー部はスパイク，剣道部は剣道具等をお持ちでしたらご持参ください。書道部は道具一式・紙をご持参ください。
＊高校野球部の体験は中学３年生のみ。中学１・２年生は見学のみとなります。
＊屋外スポーツは雨天の場合実施できないことがあります。また上記以外の部活動は都合によりできません。

## 【学校・入試説明会】

| 月　日 | 会　場 | 内容及び時間帯 | 申込 |
|---|---|---|---|
| 6月3日(土) | 井原　地場産業振興センター（経営研修室） | 学校説明会（14～16時） | 不要 |
| 6月10日(土) | 福山　県民文化センター（文化交流室） | 学校説明会（14～16時） | 不要 |
| 6月10日(土) | 岡山　ピュアリティまきび　（飛翔） | 学校説明会（14～16時） | 不要 |
| 6月17日(土) | 倉敷　ライフパーク（視聴覚ホール） | 学校説明会（14～16時） | 不要 |
| 6月24日(土)<br>7月23日(日)<br>8月26日(土) | **金光学園** | **オープンスクールPART Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ**<br>**「一日入学」**下記参照 | **必要** |
| 9月16日(土) | 井原 アクティブライフ井原（視聴覚ホール） | 入試説明会（14～16時）<br>（個別相談会） | 不要 |
| 9月16日(土) | 倉敷　ライフパーク（視聴覚ホール） | | |
| 9月30日(土) | 福山　県民文化センター（文化交流室） | | |
| 9月30日(土) | 岡山　ピュアリティまきび　（飛翔） | | |
| 10月22日(日) | **金光学園**<br>※地域会場（模擬テストのみ）<br>県民文化センター福山 | **中学入試模擬テスト**（9～12:30）<br>中学入試説明会（13:30～15:00）<br>個別相談会（15:00～16:00） | **必要**<br>不要<br>不要 |
| 10月28日(土) | **金光学園**<br>※地域会場（模擬テストのみ）<br>県民文化センター福山 | **高校入試模擬テスト**（9～12:45）<br>高校入試説明会（13:30～15:00）<br>個別相談会（15:00～16:00） | **必要**<br>不要<br>不要 |

## 【オープンスクール】

| 行　　事 | 対象 | 日　　時 | 場　所 | 内　　容 | 申込 |
|---|---|---|---|---|---|
| PART Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ<br>一日入学 | 小 | 6/24（土）14:00～16:00<br>7/23（日）8:40～12:05 | 金光学園 | 授業（6・7・8月）<br>部活動体験（7・8月）<br>学校・入試説明会<br>個別相談会　　他 | **必要** |
| | 中 | 7/23（日）8:40～12:05<br>8/26（土）14:00～16:40 | | | |
| PART Ⅳ<br>文化祭見学 | 小<br>中 | 9/9・10日（土・日）<br>10:00～14：00 | 金光学園 | 見学とスタンプラリー<br>個別相談会 | **必要** |
| PART Ⅴ<br>1日入学 | 小<br>5·6 | 10/14(土)11:20～15:40 | 金光学園 | 見学・食堂体験・生徒<br>発表見学・部活動体験 | **必要** |

■2024年度募集要項は７月下旬からお渡しできます。
■募集要項の郵送をご希望の方は，ファックスまたはメールでお申し込み下さい。
■７・８・10月の「一日入学」参加者（小６・中３）には，募集要項をお渡しします。
　また，Eメールアドレスをご登録いただくと，入試情報をはじめ各種情報を配信いたします。
■金光学園ホームページに，学校概要・入試情報等を掲載しております。どうぞご覧ください。

**お問い合わせ**
**金光学園中学・高等学校　総務課**
住所／〒719-0104　岡山県浅口市金光町占見新田1350
電話／0865-42-3131　　ファックス／ 0865-42-4787
E-mail／pub@konkougakuen.net
ホームページ／https://www.konkougakuen.net

Instagram

## 令和5年度大学入試結果

合格者数（現浪合計）
令和5年5月現在

**国立大学**
群馬大（1）　岐阜大（1）　京都教育大（1）　神戸大（4）　島根大（1）　広島大（1）　徳島大（1）　九州大（2）
東京大（1）　京都大（1）　大阪大（3）　鳥取大（1）　岡山大（14）　山口大（1）　香川大（2）　信州大（1）
**合計36**

**公立大学**
福井県立大（1）　京都府立医科（1）　神戸市外大（1）　岡山県立大（2）　福山市立大（1）　兵庫県立大（1）　北九州市立大（1）
京都府立大（1）　大阪公立大（1）　公立鳥取環境大（1）　県立広島大（2）　山口東京理科大（1）　高知県立大（1）
**合計15**

**私立大学**
目白大（1）　東京歯大（1）　国学院大（2）　駒澤大（1）　専修大（3）　大東文化大（1）　帝京大（1）　東京電機大（2）　東京薬大（1）　東洋大（1）　武蔵野美大（3）　明治学院大（1）　早稲田大（7）　神奈川歯大（1）　松本歯大（1）　朝日大（1）　名古屋学院大（1）　鈴鹿医療科学大（1）　京都先端科学大（4）
千葉工大（1）　学習院大（3）　国士舘大（1）　芝浦工大（1）　大正大（1）　玉川大（1）　東京家政大（1）　東京農大（3）　東京理大（3）　日本大（1）　明治大（3）　立教大（5）　麻布大（1）　金沢工大（4）　松本大（1）　愛知学院大（2）　名古屋商大（1）　京都外大（8）　京都産業大（20）
京都女子大（1）　京都橘大（3）　同志社大（22）　佛教大（1）　龍谷大（1）　大阪医薬大（2）　大阪経大（12）　大阪工大（1）　大阪体育大（1）　関西医大（2）　近畿大（28）　千里金蘭大（1）　関西学院大（20）　神戸女学院大（1）　神戸薬大（3）　関西福祉大（1）　岡山理大（18）　川崎医療福祉大（26）　倉敷芸術科学大（1）　就実大（14）　環太平洋大（3）　広島工大（8）　広島文教大（1）　福山平成大（4）　徳島文理大（1）　東海大（1）
京都精華大（1）　京都薬大（2）　同志社女子大（1）　立命館大（12）　京都美術工芸大（1）　大阪学院大（2）　大阪経済法科大（5）　大阪産大（3）　関西大（5）　関西外大（4）　桃山学院大（8）　大和大（4）　神戸学院大（20）　神戸女子大（1）　神戸親和大（1）　岡山商大（4）　川崎医大（1）　吉備国際大（1）　くらしき作陽大（4）　清心女子大（11）　広島経大（1）　広島修道大（4）　福山大（5）　広島国際大（2）　松山大（1）
**合計376**

**私立短期大学**
川崎医療短（2）　作陽短（1）
**合計3**

**省庁大学校**
防衛大学校（2）
**合計2**

**専門学校等**
神戸医福専三田（1）　倉敷中央看護専（1）　東京医療専門学校（1）　岡山情報ビジネス学院（3）　旭川荘厚生専門学院（1）　朝日医療大学校（1）
岡山医療附看護（1）　福山職能短大（1）
**合計11**

**海外進学**
倉敷ビューティーカレッジ（1）　カンザス州立カウリーカレッジ（1）
**合計1**

**就職**
警視庁（1）　防衛大学校（2）
**合計3**



# ある日のホームルーム

## 中学1年　人権教育

　6月下旬、中学生になってからあっという間に2か月が過ぎ、気づけば1学期期末考査のことを考えるような時期に。地元を離れ、多くの生徒が電車やバスを利用して通学する金光学園ですから、入学当初は日々緊張感のある雰囲気が漂っていた中学1年生。やっと中学校生活に慣れ始め、新たな人間関係の基礎ができつつあるこの時期。これから2大行事のほつま祭と体育会に向けて動き始める時期。このような時期だからこそ、中学1年生は120大講義室に学年全体で集合し、「人権学習」を行いました。

　人権問題、と一言で言っても、世界を見渡せば様々な種類の問題があります。世界とまで言わず日本国内と限定しても同和問題や性差別、病気に関する誤った知識から発生した差別問題などたくさんの問題が未だにあり、新たに発生している現代です。

　とはいえまだまだ「身近な問題」と認識しづらい中学生。そこで今回の人権学習は「自分と周りの人の人権をたいせつにする」というテーマで講義を受け、人権標語を一人ひとりが作成しました。講義の内容を受け、中1みんなで共有していく標語を一生懸命に考えることができました。

　完成した標語はその後、各クラスの学級委員が作成したツリーに貼り付けられ、人権ツリーとして掲示されています。学級委員が率先してツリーを作成するときも、その後標語を貼り付けるときも、いつだって一生懸命に取り組めました。学年全体で一つの目標にむかって活動することで、一体感や所属意識を改めて肌で感じることができるし、今後の生活においての道しるべとなる掲示物を目に見える形で作成できたことに、生徒たちは一定の達成感を得てくれたように思います。

　これからの中学校生活で中1の生徒のみなさんはクラスメートから同級生、兄弟学級の先輩たちと、人間関係のネットワークが急激に拡大していきます。それぞれのネットワークで良い関係だけが築いていけるわけではないと思います。ご家族の支えや教員のアプローチを経ながら「自分だけの居心地の良さではなく、他者もふくめて居心地の良い関係」を構築する練習をしていきます。今回の活動と今後人権ツリーと過ごす生活を通じて、自分だけではなく、周りの人々の人権をたいせつにする気持ちがより一層育まれ、これが基礎となって日本のみならず世界で今現在人権を脅かされている人がいる状況を正しく認識し、行動に移せるよう一人ひとりがなってほしいと思います。

# 生徒会活動

**《中生徒会》** 4月25日に新入生歓迎会をほつま体育館で開催した。1年生はあいさつで元気に入学後の決意を示した。上級生は呼びかけと体育会のダンスで盛り上げ、最後に「平和の鐘」を合唱。迫力のある歌声が体育館いっぱいに響いた。恒例の部活動紹介では各部の工夫を凝らした勧誘に1年生は楽しんでいた。

26日27日の一日入部で1年生は各部を回り、多くの者が入部し、元気に活動している。

6月7日には球技大会を実施し、それぞれ熱戦が繰り広げられた。

6月9日には生徒会総会が開かれた。今年のスローガン「大志～Be positive and try!」は生徒一人ひとりが自分の意志を貫き、全員が一丸となってどんなことにも積極的に挑戦できるようにするという思いや、それを必ず実現させるという思いが込められている。今年度の活動計画・予算・昨年度の決算が説明の後に承認された。準備・運営など3役、事務局、評議員の動きは頼もしかった。

委員会でも積極的な活動を始めた。またクラスでは、ほつま祭や体育会に向けて準備が始まっている。

**《高生徒会》** 4月15日（土）、生徒会役員選挙が行われ、生徒会長に2年1組の坂東律彦くんが選出され、副会長に2年2組の尾髙愛琉さん、1年5組の木村亮瑛くんがそれぞれ承認された。4月21日（金）には、青天の下、高校3年生、2年生の春季球技大会が開催された。ソフトボール、ドッジボール、フットサル、ティーボールの4種目で熱戦が繰り広げられた。

5月26日（金）、第一回生徒会総会が行われた。今年度の基本方針や予算について審議され、すべて原案通りに承認された。運営は円滑に進み、発言した執行部、各種専門委員長、学年代表者会議議長らはいずれも堂々とした態度で発表を行った。その他、9月に開催されるほつま祭や体育会に向けて、各クラスや実行委員会等で着々と準備が始まっている。

**《天文部》** 5月2日の校内夜間観測では、月や金星の観測を行った。夜間観測で、観測機器の使い方などを確認しながら実施した。昨年度卒業したOBも参加して、久々の校内合宿を実施することができた。

**《科学部》** 毎週月曜日と木曜日に、興味を持ったテーマについて議論した。現在は、一日入学やほつま祭で科学の面白さを伝えるための準備を行っている。

**《書道部》** 新入部員5名を含む、中学生11名、高校生8名の計19名で活動している。「第39回成田山全国競書大会」において、高2大塚萌衣が特選・月輪賞に、中3中村菜々、小寺功祐、寺川理斗、山田桃実、高1今井真那花、高3寺川なのは、片山杏悠が佳作に入賞した。

**《茶道部》** 中学3人、高校6人の新入部員が加わり、部員数は中高あわせて24人となり、みんなで教え合いながら、熱心に取り組んでいる。

**《音楽部吹奏楽団》** 3月26日（日）倉敷市芸文館にて延期になっていた「創部100年記念演奏会」を開催した。第1部は現役生徒による演奏、第2部は演奏会のために結成されたOBと金光ウインドアンサンブルによる演奏、第3部は現役生徒も交えての合同演奏を行った。曲目については詳細をはぶくが、大変盛大な会となり、一つの節目を無事終えることができた。4月7日（金）には数年ぶりに中高の入学式で演奏することができた。4月25日（火）中学生のみでの演奏だったが、新入生歓迎会で入退場曲を演奏、部活動紹介も行った。翌26日27日は一日入部で演奏や楽器体験を行い、たくさんの一年生が参加、目標とする新入部員数を達成することができた。4月29日（土）やつなみ保護者会総会にて「オーメンズオブラブ」「日本を勇気づける名曲メドレー」を演奏した。5月4日（木）里庄総合文化ホールフロイデにて「第51回定期演奏会」を開催した。第1部では「オーメンズオブラブ」「鎌倉殿の13人」「さくらのうた」「青銅の騎士」を演奏、第2部では「ラストソング」「イナズマ」「365歩のマーチ」「日本を勇気づける名曲メドレー」「Habit」「サザンカ」「生命の奇跡」「かっぽれFUNK」「マツケンサンバⅡ」「ジャンボリミッキー」最後に「勝利への賛歌」を演奏した。

**《音楽部コーラス》** 3月19日（日）に里庄総合文化ホール「フロイデ」でスプリングコンサート2023を開催した。20回目となる記念のコンサートとなり、4年ぶりにOBOGとの合同ステージをすることもできた。多くの方にも来ていただき、部員共々非常に充実したものとなった。

【第1ステージ】ポップスを中心に男声・女声・混声様々な形態で歌を届けた。

【第2ステージ】OBOG・現役合同ステージ　混声合唱組曲IN TERRA PAX

【第3ステージ】企画ステージ

6月3日（土）に高梁総合文化会館で岡山県高等学校合唱祭に参加した。午前中は4年ぶりに合唱講習会も行われ、合唱祭の合同曲を練習した。新入部員の初ステージを良い雰囲気で迎えることができた。

【曲目】「ロマンスの神様」「島唄」【合同曲】「土の歌」から「農夫と土」「大地讃頌」

**《高放送部》** 1年生が2名入部した。6月11日（日）に就実中学・高等学校を会場に「第70回NHK杯全国高校放送コンテスト岡山県予選」が開催され、アナウンス部門に高2丸本芽生が、朗読部門に高2山瀬あおいが出場した。また、番組部門にも「僕らの制服改革」という番組を作成し出場した。

**《高美術部》** 1年生3名（留学生含む）、2年生7名、3年生3名で活動している。6月3日に開催された令和5年度高校生美術コンクール静物デッサン部門に2名が参加した。ほつま祭ポスター原画に使用する作品の制作に部全体で取り組み、投票によって高3天岡あすかの作品を選出した。また、ほつま祭の部展示に向けてそれぞれが制作に励んだ。

**《中・高新聞部》** 5月に教育実習生の紹介新聞を発行した。

**《文芸部》** 高3が1名、高1が3名の4名で活動している。毎月テーマを設けて小説を執筆した。作品は月例集にまとめ、批評会を行うことで互いに研鑽を積んだ。全員が今年度から活動を始めた新入部員であるが、コンクールへの出品やほつま祭での文芸誌『榾柮火』を目標に頑張っている。

**《軽音学部》** ほつま祭に向けて，日々熱心に練習に励んでいる。

**《写真部》** 高校1年生2名、2年生1名が新たに加わり、部員数7名でほつま祭の展示に向けて活動している。

**《囲碁将棋部》** 5月20日（土）～21日（日）

に山陽新聞社で行われた、第53回岡山県高等学校将棋選手権大会兼第59回全国高等学校将棋選手権大会岡山県予選会に参加、男子団体戦で、金光学園Aチーム（高3仕田原　良、藤井　敬久、高2西　和史）がベスト8、Bチーム（高3柳澤　賢、高2ジョエル・ウンバク、高1石村　心）がベスト4に、男子個人戦Aで高3藤井敬久がベスト8になった。

6月25日（日）に倉敷青陵高校で行われた、第36回岡山県高等学校将棋竜王戦兼第36回全国高等学校将棋竜王戦岡山県予選会に、高3仕田原　良、藤井　敬久、高2西　和史、川﨑　有生の4名が参加した。

**《中男子ソフトテニス部》** 5月には4名の新入部員を迎え、18名で今年度の活動をスタートした。5月3日に福山テニスセンターで行われた第17回びんごふくやま中学生ソフトテニス交歓大会に2チームが出場し、Bチームが決勝トーナメント1回戦、Aチームが決勝トーナメント2回戦で敗退した。6月17・18日に笠岡総合公園テニスコートで行われた備南西地区総体では、個人戦に6ペアが出場し、佐野・石岡ペア、虫明・香河ペア、黒川・青木ペアが初戦敗退、大谷・藤井ペア、山下・森原ペアが2回戦敗退、横溝・定金ペアがベスト8で県大会の出場権を獲得。団体戦では予選リーグで美星中学校に3―0で勝利するも、井原中学校に1―2で敗退し、県大会出場は果たせなかった。

**《中女子ソフトテニス部》** 4名の新入部員を迎え、計11名で今年度の活動がスタートした。

6月17日・18日に笠岡総合スポーツ公園テニスコートで行われた、備南西地区大会の個人戦に3ペアが出場したが、全ペアが初戦敗退、団体戦では予選リーグ敗退であった。

今後は1年生のみの活動となるが、近隣の中学校との合同練習などを模索している。

**《高男子ソフトテニス部》** 4月15日（土）、岡山県春季高等学校ソフトテニス選手権大会が水島緑地福田公園テニスコートでおこなわれた。3ペアが出場し、生藤・板野ペアが初戦敗退、早野・桑田ペア、桑田・竹内ペアが2回戦で敗退した。5月6日（土）には全日本・中国高等学校ソフトテニス選手権大会（ダブルス）の備西地区予選会が笠岡総合スポーツ公園テニスコートでおこなわれた。6ペアが出場し、高野・矢島ペア、生藤・板野ペア、能宗・北口ペアが初戦敗退、鈴木・古川ペア、早野・桑田ペア、桑田・竹内ペアが2回戦で敗退し、県大会への出場権の獲得はならなかった。5月13日（土）には備中支部高等学校総合体育大会ソフトテニス競技の部備西地区対抗大会が笠岡総合スポーツ公園テニスコートでおこなわれた。団体戦に1チーム出場したが、1回戦で笠岡高校に0対3で敗れた。6月10日（土）、全日本・中国高等学校ソフトテニス選手権大会（団体）の岡山県予選会が浦安総合公園テニスコートでおこなわれたが、1回戦で興陽高校に1対2で敗れ、初戦で敗退した。6月17日（土）には国民体育大会岡山県選手少年（男女）1次選考会が備前テニスセンターでおこなわれた。2ペアが出場したが、どちらも初戦敗退であった。

**《高女子ソフトテニス部》** 3年生2名、2年生3名の計5名で今年度の活動がスタートした。

4月15日に福田公園テニスコートで行われた春季高校選手権《個人》に2ペア



出場し、2回戦敗退。5月6日に笠岡総合スポーツ公園テニスコートで行われたインターハイ・中国大会備西地区予選《個人》に2ペアが出場したが、ともに初戦敗退で県大会出場はならなかった。2.5ペアであるため、備西地区総体（ソフトテニス競技《団体》やインターハイ・中国大会岡山県予選《団体》には出場すらできず、3年生引退後は、練習試合や合同練習を積極的に行い、井の中の蛙にならないようにしたいと考えている。

**《中卓球部》** 3月12日に第8回ニッタク杯総社オープンカデット卓球大会に参加した。男子団体では予選リーグを1位で通過し、決勝トーナメント2回戦でTFとみやまBに敗れた。女子団体では予選リーグを3位で通過し、3位トーナメント3回戦で敗れた。

4月22日に近府県選手権大会（一般の部）に参加した。男子団体で関西高校A、天晴れクラブ、高松中央高校B、興陽高校に負け、予選リーグを敗退した。

5月3、4日に近府県選手権大会（中学以下の部）に参加した。男子団体では予選リーグで真備東に2―3、岡大附属に3―0、山口県選抜に1―3で3位となり、3位トーナメントで福浜に3―1、東出雲クラブに3―1、京山に3―2、天城に3―1で勝ち1位となった。男子個人では安藤（L3）がベスト128、女子個人では藤原（L3）がベスト64に入った。

6月11日に井原前期個人戦に参加した。男子個人では安藤と山田（L3）が決勝トーナメントに進みベスト8、予選2位トーナメントで福上（L2）が1位、下久保（L2）が2位、予選3位トーナメントで黒川（L2）が1位であった。女子個人では藤原が3位に入賞した。

6月17、18日に備南西地区総体に出場した。男子団体は7勝0敗で優勝し、県大会出場権を決めた。女子団体は0勝6敗で8位であった。男子シングルスは安藤が準優勝、山田が4位、小谷（L3）がベスト8で県大会出場を決めた。女子シングルスは藤原が準優勝し県大会出場を決めた。

**《高卓球部》** 4月22日～23日に近府県選手権大会（一般の部）に参加した。

5月2、6日に県高校総体個人の部に参加した。男子シングルスでは、白神（U2）がベスト16に進出して中国大会出場権を獲得し、藤井彰・光田舜（U3）、齋藤（U2）がベスト32、光田隆・山本（U3）、岸本（U2）がベスト64、女子シングルスでは、川上（U2）げベスト32、大野（U3）がベスト64に進出した。男子ダブルスでは、藤井彰・白神組、光田隆・山本組がベスト16に進出した。

5月27日には、白神が県高校総体シングルスベスト16以上のリーグ戦に出場し、結果、第16位のランキング賞を受賞した。

6月3日～4日に県高校総体学校対抗の部に参加した。男子団体戦では2回戦勝山高校、3回戦岡山学芸館高校に勝ち、ベスト8以上の上位リーグに進出した。1次リーグでは、津山高専に勝つも、関西高校・総社南高校に敗れ、5～8位決定の2次リーグに回った。2次リーグでは、岡山商大付属高校・岡山東商業に勝ち、全体の第5位で中国大会出場権を獲得した。女子団体戦では、1回戦瀬戸南高校に勝ち、2回戦では山陽学園に敗れた。

6月17～19日に中国高等学校卓球選手権に出場した。男子団体戦では、2回戦で鳥取県3位の鳥取商業に勝ち、3回戦

では広島県1位の呉青山高校に敗れ、ベスト16であった。男子シングルスは白神が1回戦島根県代表選手に勝ち、2回戦では大会第1シードの山口県代表選手に敗れた。

**《高校サッカー部》** 高円宮杯U―18サッカーリーグ2023OKAYAMAチャレンジリーグの結果は次の通りである。4月30日、対山陽学園（1―0）、B戦（負け）、5月21日、対総社（1―2）、B戦（負け）であった。5月13日・14日に行われた備中支部総体備西大会では、一次リーグで、対笠岡工業（4―2）、対おかやま山陽（0―3）、対笠岡（2―5）、対玉島（3―2）、B戦は対おかやま山陽（負け）、対玉島（2―0）、対矢掛井原玉商（0―0）という結果であった。5月20日の県総体は、対一宮（0―5）であった。6月18日、山陽学園と練習試合（30分×4）を行い、結果は（0―3・1―2・0―0・0―3）であった。

**《柔道部》** 今年度柔道部では新たに中1が6名入部し、計15名で活動をしている。

4月22、23日に岡山武道館で、第70回中国高等学校柔道大会岡山県予選会が行われた。男子団体戦では興譲館高校に敗れ、敗者復活戦で東岡山工業高校に敗れた。男子個人戦では計7名が出場し、それぞれが善戦した。

6月3、4日に岡山武道館で、第62回岡山県高等学校総合体育大会柔道競技が行われた。男子団体戦では岡山学芸館に敗れた。男子個人戦では計4名が出場し、それぞれが善戦した。

6月17日に里庄武道館で、令和5年度岡山県中学校体育連盟備南西地区総合体育大会柔道競技が行われた。男子個人戦では計2名が出場し、81kg級で中3中井が第一位になるなど、中3大島も含めて2名ともが県総体への出場権を得た。

**《中少林寺拳法部》** 6／4に倉敷武道館で行われた岡山県中学生大会に出場した。男子単独演武でL3田淵伸太郎、L3能宗智が4位、女子単独演武の部でL2白神凛が7位、L2小林佳未が9位、女子組演武でL2小野さくら・和田悠里が4位という結果であった。以上の者が全国中学生大会への出場権を得た。

**《高少林寺拳法部》** 6／3に岡山工業高校で行われた岡山県総体に出場した。男子単独演武でU3原田大地が優勝し、U1渡邉康稀が4位、U1西山和志が5位、U2山内和人とU1中尾優那が決勝に進出した。女子単独演武でU2岸本奈那美が3位に入賞した。女子組演武でU2尾高愛琉・高橋里桜奈が優勝し、U2籠﨑なずな・恒本紗都が3位に入賞した。女子団体演武でU2岸本奈那美、籠﨑なずな、恒本紗都、尾高愛琉、高橋里桜奈、佐藤史織が優勝した。このうち、3位以上の者が中国選手権大会への出場権を得た。また、単独演武および組演武2位以上、団体演武1位の種目でインターハイへの出場権を得た。

**《中男子バスケットボール部》** 6月17、18日に備南西地区総合体育大会（バスケットボール競技の部）が矢掛中学校で行われた。準決勝では、里庄中学校と対戦し95―47で勝利、続く決勝戦では、鴨方中学校と対戦し59―46で勝利。地区1位となり、7月22日から行われる県大会への出場を決めた。

**《高校男子バスケットボール部》** 5月26日（金）から2週にわたり、第62回岡山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技の部が、岡山市総合体育館などで開催された。男子バスケットボール部は、新人戦の結果を受けて、第6シードとなった。一回戦はシード、二回戦では津山工業と対戦し、106―78で勝利した。ベスト4をかけた試合では、第3シードの岡山工業と対戦し、前半をリードで終えるも後半に逆転され、最終スコア72―87で敗れ、本大会をベスト8で終えた。本大会をもって高校3年生は高校での部活動を引退するが、この3年間の努力がしっかりと出た試合となった。

**《高女子バスケットボール部》** 令和5年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技岡山県予選会で、一回戦津山高校に69対65で勝ち、二回戦岡山東商業高校に80対53で負けた。

**《ダンス部》** 中高合わせて17名で活動中。現在は夏の玉島ハーバーダンス・9月のほつま祭に向けての練習に励んでいる。

# 学園だより

**オーストラリア姉妹校交流プログラム**
　3月19日～29日、ラッドフォード・カレッジ第5回姉妹校交流が実施された。海外ならではの異文化交流を体験し無事に帰国した。4月6日には本部参拝を行った。

**出校日**　4月6日、在校生が出校し、新クラス発表の後、教室移動を行った。

**入学式**　4月7日、感染症対策を行いながらも例年通り、中学は午前中に、高校は午後からほつま体育館で行い、それぞれ102名、155名の新入生が希望に胸を膨らませて入学した。

**始業式**　4月10日、中高合同で1学期始業式がほつま体育館で行われた。新任教員紹介の後、校長式辞、在校生を代表して高3小林なな子さんから歓迎の言葉、また新入生を代表して中1の秋吉理名さんから挨拶がそれぞれあった。

**◇新入生代表挨拶**（中1　秋吉　理名）

　あたたかな春の訪れとともに、私たち中学校102名、高等学校155名は、金光学園の生徒として新たな仲間と新しい一歩を踏み出します。

　勉強、部活動、友達との時間。どれも今しか体験できないことなので、切磋琢磨しながら、一生懸命取り組めたらと思っています。間違った方向へ進むことがあれば、先生方、先輩方、厳しくも温かいご指導をお願いします。

　私たち新入生一同は、歴史と伝統ある金光学園の生徒としての誇りを持ち、「人をたいせつに　自分をたいせつに　物をたいせつに」この言葉を胸に、実りある学園生活を送っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

**新入生本部参拝**　4月11日、晴天に恵まれ中1と高1が金光教本部に参拝し、これからの学園生活の立ち行きをお願いした。その後、境内でクラス毎の記念写真を撮影した。

**◇お届け**（高1　柳澤　慧）

　4月8日に中学校新入生102名、高等学校新入生155名と留学生3名、合計260名は多くの方々の祝福を受け、金光学園に無事進学させていただくことができました。

どうぞ神様にお礼を申し上げてください。

　私たちは自らの理想や夢を実現させるために金光学園に進学しました。それぞれの思いを実現させるために精進し、一度しかない学園生活を大切に過ごすことで、充実したものにすることを誓います。

　この先、大きな壁にぶつかることもあると思いますが、学園の合言葉「人をたいせつに、自分をたいせつに、物をたいせつに」を心にとどめ、先生方、家族、友人など多くの人に支えていただきながら、乗り越えていきたいと願っています。

　また、様々な制限を受けた経験があるからこそ、行事を以前のように行えるよう、全員が高い志を掲げて、安心安全に過ごせるよう、どうぞよろしくお願いいたします。

**◇教主金光様のおことば**
　皆さん、おめでとうございます。どうぞ、お世話になるすべてにお礼をいう心をもって、すべてを大切にされ、おかげを頂いていかれますよう、お祈りいたします。

**街頭交通指導**　4月11日から17日まで教員が通学路に立ち、交通安全・交通マナーについての指導を行った。

**なんでも相談室**　毎週水曜日に午前10時から午後5時まで第1相談室で開設され、学校カウンセラーがカウンセリング・助言・支援を行っている。

**検尿**　4月13・14日に検尿を実施した。

**高2進路講演**　4月13日、唐川靖弘氏による「VUCA時代の生き方・働き方を考える」と題した講演を聴き、混迷の時代を生き抜くために必要なことや、どのようなことが大切なのかを、ワークショップを通して学んだ。

**高1進路講演**　4月14日、高1はベネッセコーポレーションの岩城将太氏による「これからの高校生活に向けて」と題した講演を聴き、高校生としての学習において大切なこと、日々の過ごし方について学んだ。

**高校生徒会役員選挙**　4月15日、高校ほつま生徒会役員選挙が行われた。開票の結果、会長に坂東律彦くん（高2）、副会長に尾髙愛琉さん（高2）、木村亮瑛くん（高1）が決定した。

**内科・歯科検診**　中学生は4月19日に、高校生は4月20日に内科・歯科検診を行った。

**中1入校時合宿**　4月20日～21日、中1が入校時合宿を行い、遙照山登山の後男子は光風館に、女子は土佐家に宿泊した。夜の集い、学園歌コンクール、安全教室などを通じ親睦を深め、集団生活の規律を学んだ。

**高1一日旅行・高2・高3高校春季球技大会**　4月21日、高1は一日旅行としてツネイシしまなみビレッジに赴き、実行委員主催の集団ゲームやウォークラリーを通じて親睦を深めた。春季球技大会では高2・高3がソフトボール、フットサル、ドッジボール、ティーボールで熱闘した。

**心音心電図・血圧**　4月24日に中1、25日に高1を対象に実施した。

**中学新入生歓迎会**　4月25日に開催され、新入生に向けて上級生が部活動の紹介などを行った。

**一日入部**　4月26日・27日に行われ、新入生が部活動を見学・体験した。

**やつなみ保護者会総会**　4月29日、1限に授業参観、2限に学級会、3、4限にほつま体育館で総会と講演が行われた。講演はKIT虎ノ門大学院イノベーションマネジメント研究科教授、三谷宏治先生の「未来を生きる力の共育法」であった。

**中3性教育**　5月9日と6月6日に、男女交際や性感染症・避妊について学習した。

**歌のプレゼント**　5月10日、13時～13時15分に、高橋ゆうやさん・はたなかみどりさんによる路上ライブがやつなみ広場で行われた。天気にも恵まれた中、3曲が熱唱され、中学・高校共に盛り上がっ

た。

**高3人権教育**　5月19日、高3はNPO法人ヒカリカナタ基金理事長の竹内昌彦先生による講演「私の歩んだ道～見えないから見えたもの」を聴き、笑いあり涙ありのお話の中から今後の人生への示唆を受けた。

**教育実習**　5月22日から6月10日までの期間、卒業生など学園にゆかりのある9名が2週間ないし3週間の実習を行った。

**高生徒会総会**　5月26日、ほつま体に全校生徒が集合して開催された。生徒会執行部・事務局や各種委員会の基本方針、令和5年度予算などが承認された。

**塾対象説明会**　5月31日、塾の先生を対象に学校説明会を開催した。金光学園の学習や行事、部活動などについて説明した。午前中には授業公開も行った。

**芸術鑑賞会**　6月2日、中川英二郎氏、本田雅人氏、宮本貴奈氏、川村竜氏、川口千里氏による「金光学園スペシャルバージョンバンド」が、ほつま体育館で演奏された。今年度は中高合同開催となり、素晴らしい音色に心躍らせた。

**中学夏季球技大会**　6月7日、夏季球技大会が行われた。バスケットボール、ドッジボール、ソフトボール、ティーボール、フットサル、フットベースボールに分かれ、熱闘した。

**耳鼻科・眼科検診**　6月8日、中1と中3（眼科のみ）を対象に実施した。6月9日、高1と高3（眼科のみ）を対象に実施した。

**中2性教育**　中2は6月8日、金光町民会館にて、かみむらウイメンズクリニックの上村茂仁先生の講演を保護者と共に聞いた。

**中学生徒会総会**　6月9日、ほつま体育館に全校生徒が集合して開催された。生徒会や常任委員の基本方針、令和5年度予算などが承認された。

**高2修学旅行**　6月11日～16日、北海道とオーストラリアとシンガポール・マレーシアの3コースに分かれて実施した。3コースとも雄大な自然・文化・歴史に触れ、見聞を広めた。（紀行文は次号に掲載）

**中3進路講演**　6月13日、進路課長の籠﨑恒祐教諭から「志を高く夢に向かって」という進路についての話を聴いた。また、6月19日の6限に中3保護者を対象に同じ講演を行った。

**高3・中3読書会**　6月20日、高3と中3が読書会を行った。各人が希望した本ごとにグループに分かれ、お互いの意見を交換した。



**旧中学図書室本寄贈**　6月21日～28日、図書室の統合に伴い旧中学図書室の蔵書を生徒・教職員に寄贈した。旧中学図書室開放期間は多くの生徒が訪れた。

**中1人権教育**　6月23日に行われた中1人権教育では、「人権」について考えを深めた後、3つの合言葉をテーマとした人権宣言を作成した。班ごとに話し合いながらの宣言作成は大いに盛り上がった。

**一日体験入学パートⅠ（小学生対象）**　6月24日、午後から行われた一日入学では、授業体験や説明会が行われた。総勢約200名の参加者が来校し、賑やかに行われた。

**高2理系探究中間発表会**　6月28日、高2の総合進学理系クラス全員と、特別進学理系クラス探究Ⅱ選択者が中間発表会を行った。各グループは中間発表を行い、オンラインもしくは対面で助言者から指導、助言をいただいた。

**中2平和学習**　中2は6月30日、「広島平和研修事前学習学年発表会」として、総合学習の時間に調べたことなどをまとめたグループ発表を行った。7月に広島市で行われる「金光教広島平和集会」への参加に向けて、広島への理解と平和への思いを深めた。

**高2性教育**　7月10日、助産師の内尾京子先生（公設国際貢献大学校）の「責任ある性」と題した講演を聴いた。

**高1夢ナビライブ参加**　7月15日、高1は「夢ナビライブ」にオンラインで参加した。大学の先生の講義を受けたり、各大学の説明を聞いたりして、大学進学・進路選択に対する意識を高めた。

**中2広島平和研修**　7月15日、中2は広島市で開催された「第78回金光教広島平和集会」に参加し、原爆ドームを巡るなどして平和の大切さを学んだ。

**一日体験入学パートⅡ（小中学生対象）**　7月23日、オープンスクールを開催した。授業体験、部活動体験、説明会などを行った。

**1学期終業式**　7月26日、1学期終業式が行われた。

**お慶び**　北川弘樹先生には6月29日に長女がご誕生、お慶び申し上げます。

**お悔やみ**　西山龍明先生のご母堂で、西山秋子先生の御岳母には4月18日にご逝去、謹んでお悔やみ申し上げます。

## 中・新入生歓迎会

## Radford College 第5回姉妹校交流プログラム

# 教室の窓から

やつなみは、7月、12月、3月の年3回発行される。2020年3月に256号が発行されたが、次号の257号（7月、12月合併号）が発行されたのは2020年12月だった。2020年7月は発行されなかった。新型コロナウイルス感染症の影響だ。

全国の学校が一斉に休校することになるという、未曾有の事態に国中が慌てふためいた。もちろん、本校も4月11日から5月30日までの間、休校となった。その間だけでなく、それ以降も、部活動の試合や各種行事などが中止となった。やつなみに掲載されるはずの数々の活動が実施されなかった結果、2020年7月は、掲載記事が少なく、発行することができなかったのだ。

この3年間は、マスク着用が義務づけられた。学校では、毎朝の検温チェックも実施された。ネクタイやリボンを忘れてくる生徒はいても、マスクを忘れる生徒はいなかった。新型コロナウイルス感染症の対策をしながら、少しずつ学校内でできることを模索し、実施していったが、257号以降のやつなみ掲載の写真は、マスク着用で表情が見られない写真は、どこか寂しさを感じる。

さて、令和5年3月13日にマスク着用が個人の判断に任されるようになった。新学期になり、教室に向かう際には、3分の1くらいの生徒はマスクをはずしているだろうかなどと、予想していた。ところが、私のクラスでマスクをはずしている生徒は一人だけだった。他クラスも同じような状況だったようだ。3年間のマスク生活に慣れた生徒たちは、マスクをはずして顔を出すことに抵抗感があると言っていた。特に女子にその傾向が強いようだ。6月に入り、だんだん暑くなってきたが、マスクをはずしている生徒は3分の1にも満たない。マスク着用が義務づけられた時には煩わしさを感じたものだが、人間の慣れというものは恐ろしい。今度は外すことに抵抗を感じるようになった。もちろん、まだコロナウイルスへの感染が恐いという事情もあるだろう。

さて、自分の机で黙食していた昼食も自由になった。こちらの方はすぐに慣れたようで、気の合う仲間と楽しそうにおしゃべりをしながら昼食を取っている生徒も多い。生徒にとっては、授業の合間のほっとできる時間のようだ。もちろんマスクを外すのは食事中だけで、食べるとすぐにマスクを着用している。いつになったらコロナ前のような状態に戻れるのだろうか？　先はまだ長そうだとも感じるし、「北風と太陽」ではないが、暑い夏がくると自然にマスクを外す生徒も増えそうな予感もする。

## 編集後記

NHK・Eテレ番組が好きで良く見ている。0～2歳児向けの『いないいないばあっ！』で20年間出演したキャラクター「うーたん」の卒業ニュース（毎日新聞「くらしナビ」4・8初出）を見て驚いた。20年ぶりに主要なキャラクターを変える決断は大きなものだったと思うが、チーフプロデューサーは「（番組内容を）『今』に一番近い形にしたかった」と答えていた。前キャラクターに比べ、新キャラクターの「ぽぅぽ」は他者との関係性を重視した設定や性格になっているそうだ。「赤ちゃん」を取り巻く環境も、我々が持つ赤ちゃんへのイメージも、時代と共にどんどん変わっていくのだ。

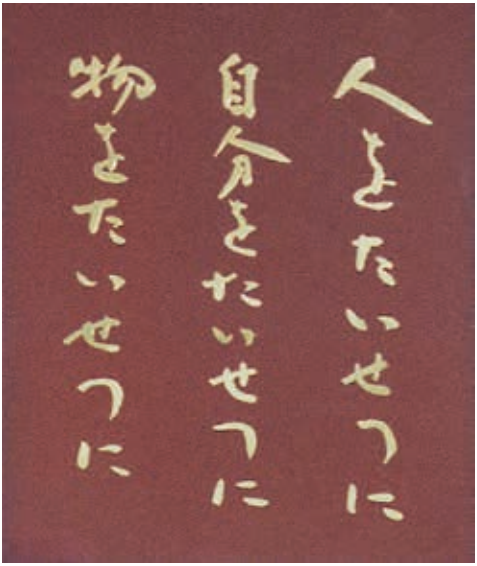
生徒たちも「今」を生きている。「今まで」を支えてくれた全てに感謝をしつつ、「今」に臨機応変に対応していきたい。


令和5年7月14日印刷
7月24日発行

編集者　金光学園やつなみ保護者会
　　やつなみ編集部

印刷所　倉敷市船穂町船穂二〇九五―一一
　　玉島活版所

発行所　浅口市金光町占見新田一三五〇
　　金光学園内
　　金光学園やつなみ保護者会




◎ほつま＝秀真

非常に優れ整い備わっていることの意。
「日本という国」の古異名の一つ。
創立後、生徒会や冊子の名に使用。
ほつま体育館、ほつま祭などで使われる。

◎やつなみ＝八波

どこまでもひろがり栄えゆく願いをこめる。
金光教・学園・中学・高校の徽章のふちどり。
ＰＴＡ機関誌創刊当時、会員から公募してつけた。

homepage　facebook　Instagram

**人をたいせつに　自分をたいせつに　物をたいせつに**

**http://www.konkougakuen.net**
**E-mail　info@konkougakuen.net**